

# 取扱説明書

## ドライブエージェントパーソナル専用端末 TMX-DM06

お車への取り付けは、必ずこの取扱説明書に従って正しく行ってください。指定以外の取り付け方法や指定以外の部品を使用すると、事故やケガ、正しくサービスが提供されない原因となる場合があります。この場合は、製造元では一切の責任を負いかねます。

また、端末の取り付けに際し、次のことを必ず確認してください。

- 端末を取り付けるお車が平らな場所に停まっていること
- 端末が通信圏内であること
- 本書の説明を確認すること

### 【取付サポートのご説明動画】

端末のお車への設置にあたっては取付サポートをご用意しております。詳細についてはこちらの二次元コードからアクセスしてください。



最新の取扱説明書は、こちらの二次元コードからアクセスしてください。



改修内容の詳細については、こちらの二次元コードからアクセスしてください。



第二版

はじめに

安全上のご注意

端末について

初期動作確認

端末の付け替え方

端末の使い方

事故連絡機能

ドライブレコーダー機能  
(映像記録機能)

事故予防・  
事故防止支援機能

システム設定・  
データアップデート

PC アプリ

困ったときは

付録

### 【DAP 取付サポート（出張取付け）予約サイト】

本端末は、お客様のご指定の場所に提携業者が出張して取り付ける

「出張取付け」をご利用いただけます。

こちらの二次元コードから出張取付日程のご予約が可能です。



### 【端末の取付方法に関するご説明動画】

ご自身で取付を行う場合の取付方法については、  
こちらの二次元コードからアクセスしてください。



### 【DAP 車種別取付ナビ】

ご自身で取付を行う場合の取付方法については、  
こちらの二次元コードからアクセスしてください。



# 目次

## はじめに

本書の見かた ..... 5

## 安全上のご注意

安全上のご注意 ..... 6

利用上のご注意 ..... 12

## 端末について

付属品を確認する ..... 15

端末各部の名称と主な働き ..... 17

タッチパネルの操作方法 ..... 20

ホーム画面に表示されるアイコン

について ..... 21

ステータス LED・SOS ボタン

LED の表示について ..... 22

## 初期動作確認

端末を取り付ける ..... 24

取り付ける前に知ってほしいこと ..... 24

・ 取り付け指定位置について ..... 27

カメラユニットの取り付け方 ..... 28

ケーブル、バッテリーユニットの

取り付け方 ..... 31

取り付けの確認 ..... 38

端末の起動 ..... 39

チュートリアル ..... 39

事故連絡デモ機能 ..... 43

事故連絡デモの確認 ..... 43

## 端末の付け替え方

端末の付け替えについて ..... 46

端末を別のお車に付け替える場合 ..... 46

お使いのお車の端末を交換する場合 ..... 51

・ カメラユニットの交換 ..... 51

・ バッテリーユニットの交換 ..... 53

## 端末の使い方

端末の主な機能 ..... 55

事故が起きたときの機能 ..... 55

日常の運転中の機能 ..... 55

システム設定の確認・変更 ..... 55

端末の使い方

(サービスの開始と終了) ..... 56

サービスの開始から終了まで ..... 56

端末の電源をオフにする ..... 60

## 事故連絡機能

衝撃検知と事故連絡の

関係について ..... 61

常時録画とロックの関係性 ..... 62

衝撃ごとのイベント録画と

ロックの関係性 ..... 62

事故連絡機能 ..... 63

事故連絡機能について ..... 63

事故連絡機能に関するご注意 ..... 63

自動で事故連絡をする ..... 64

手動で事故連絡をする ..... 64

事故受付センターへ緊急連絡をする

(SOS 発信機能) ..... 66

事故受付センターからの

着信について ..... 67

事故を検知できなかった場合 ..... 67

事故受付センターの連絡先を

確認する ..... 67

事故映像を確認する ..... 69

ドライブエージェントパーソナル

事務局の連絡先を確認する ..... 70

## ドライブレコーダー機能

(映像記録機能)

ドライブレコーダー機能

(映像記録機能) ..... 71

ドライブレコーダー機能 (映像記録機能) について .....	71
ドライブレコーダー機能に関する ご注意 .....	71
録画された映像の取り扱いについて ...	73
録画した映像を端末で再生する .....	74
・ 録画した映像を削除する .....	77
・ 録画映像を手動で ロック / ロック解除する .....	78
・ イベント録画から映像を転送する	79
・ 常時録画から映像を転送する .....	80

## 事故予防・事故防止支援機能

安全運転診断機能 .....	82
要注意運転アラート .....	82
運転終了時 .....	82
急操作警告機能 .....	83
急操作警告機能について .....	83

## システム設定・ データアップデート

システム設定の確認・変更 .....	84
システム設定を行う画面を表示する ...	84
ドライブレコーダー .....	85
・ カメラの露出を補正する .....	85
・ 使用したいカメラを設定する .....	86
・ カメラの映像を確認する .....	86
システム設定 .....	87
・ 音声メッセージと警告音などの 音量を設定する .....	87
・ 急操作警告音を ON・OFF する .....	88
・ ディスプレイの明るさを設定する ...	88
・ ディスプレイの表示時間を設定する ...	89
・ バッテリーユニットの画面に 表示するカメラ映像の切り替え ...	90
・ 走行終了時の運転診断メッセージを ON・OFF する .....	90
・ microSD™ カードを初期化する ...	91
・ 端末の設定を初期化する .....	92
情報 .....	93
・ 車両登録情報を確認する .....	93
・ 端末のシステムバージョンを 確認する .....	93

・ 端末の識別番号 (IMEI 番号) を 確認する .....	94
・ 法的情報を確認する .....	94
点検・チュートリアル .....	95
・ 手動保守点検 .....	95
・ チュートリアル .....	98
端末をアップデートする .....	99

## PC アプリ

PC アプリ「ドライブ エージェントパーソナル」 ...	100
PC アプリインストーラーを 入手する .....	100
端末から microSD カードを 取り外し、パソコンに挿入する ...	100
パソコンへ PC アプリを インストールする .....	101
・ 動作推奨環境 .....	102
PC アプリ「ドライブエージェントパー ソナル」を起動する .....	102
・ イベント録画から送信したい 映像を選択する .....	103
・ 常時録画から送信したい映像を 選択する .....	104
・ ヘルプを確認する .....	105

## 困ったときは

よくあるお問い合わせ (FAQ) ...	106
故障かな?と思ったら .....	112
エラーメッセージ .....	115

## 付録

microSD カードの交換について ...	123
比吸収率 (SAR) について ...	126
商標・著作権 .....	128
主な仕様 .....	129

# 本書の見かた

表記	意味
⚠ 警告 / ⚠ 注意	取り扱いで注意していただきたいことや、端末の性能を維持するうえで注意していただきたいことについて、説明しています。
📝 メモ	操作するうえでのヒントや、機能に関する補足について説明しています。
【〇〇】	操作に使用する端末のボタンを表します。
[〇〇]	端末の画面に表示される選択項目を表します。
→ P.XX の「〇〇」 (→ P.XX)	参照していただきたい箇所を説明しています。 P.XX：参照箇所のページ 「〇〇」：参照箇所のタイトル


- 本書では、microSDXC™ メモリーカードを総称して「microSD カード」と表記しています。
- 本書では、通信に必要な電波強度を満たしている場所を「通信圏内」、満たしていない場所を「通信圏外」と表記しています。
- 本書で使っているイラストや画面例、メッセージの内容は、実際の製品と異なることがあります。
- 実際の製品の画面は、性能・機能改善のため、予告なく変更することがあります。


# 安全上のご注意


安全にご使用いただくために必ずお守りください

あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、必ずお守りいただくことを説明しています。

- 表示内容を無視して、誤った使い方をしたときに及ぼす危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。


 **危険** 「人が死亡または重傷を負う可能性が差し迫って生じることが想定される内容」です。


 **警告** 「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」です。

 **注意** 「人が軽傷を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容」です。

- お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。


 注意（警告を含む）しなければならない内容です。

 禁止（やってはいけないこと）の内容です。

 必ず行っていただく強制の内容です。

## 内蔵バッテリーに関するご注意

### 危険

 火の中への投入や火気に近づけたり、加熱したりしない  
絶縁物が溶けたり、ガス排出弁や保護機構を損傷するだけでなく、漏液した電解液に引火し、破裂、発火の原因となります。

**直接叩くなどして強い衝撃を加えない**

変形、保護機構が破損する可能性があり、発熱、破裂、発火の原因となります。

**指定以外の電池は使用しない**

電池の破裂、液もれにより、ケガや周囲を汚染する原因となります。

## 警告



強制

**電池の液もれが発生した場合は**

皮膚や衣服に付着したときは、きれいな水で洗い流してください。目に入ったときは、きれいな水で洗った後、ただちに医師にご相談ください。

### 接続・取り付け

## 警告



禁止

**エアバッグの動作を妨げる場所には、絶対に取り付けと配線をしない**

エアバッグ装着車に取り付ける場合は、車両メーカーに作業上の注意事項を確認してください。エアバッグが正常に動作しないなど死亡事故の原因となります。

**前方視界や運転操作を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所には絶対に取り付けない**

交通事故やケガの原因となります。

**電源ケーブルの被膜を切って、他の機器の電源を取るなど、分岐配線をしない**

電源ケーブルの電流容量がオーバーし、ケーブルが過熱して、火災や感電、故障の原因となります。

**ケーブル類は、保安基準に適合しない場所に貼り付けたり、一度剥がしたものをそのまま再び貼り付けたり、汎用の両面テープで貼り付けたりしない**  
視界不良やケーブル類が剥がれて、事故の原因となります。

**コード類は絶対に途中で切断しない**

コード類にはヒューズが付いている場合があるため、保護回路が動かなくなり、火災の原因となります。

## 警告



強制

**必ず付属の部品を使用し、取扱説明書に従い確実に固定する**

付属の部品以外を使用すると、端末内部の部品を損傷したり、しっかりと固定されなかったことが原因で部品が外れることにより、運転の妨げとなり、事故やケガの原因となります。

**取扱説明書に従って接続・取り付けする**

取扱説明書に従わずに接続・取り付けを行うと、火災や故障の原因となります。

**車体やネジ部分、シートレールなどの可動部にコードを挟み込まないように配線する**  
断線やショートにより、火災や感電、故障の原因となります。

**コード類は運転操作の妨げとならないように固定する**

コードを固定する付属部品または市販部品を使用してください。ステアリングやセレクトレバー、ブレーキペダルなどに巻きつくと、運転操作を妨げ事故の原因となります。また、乳幼児の首などに巻きつく危険があります。

**取り付けと配線が終わったら、電装品が元どおり正常に動作するか確認する**

正常に動作しない状態で使用すると、火災や感電、交通事故の原因となります。

**小物部品や microSD カードは、乳幼児の手の届かないところに保管する**  
誤って飲み込んだ場合は、ただちに医師に相談してください。

## 注意



禁止

**ヒーターの熱風が直接あたらないように吹き出し口の方向を調整する**

内部温度が上昇し、火災や故障の原因となることがあります。

**端末を取り付け指定位置以外のところに取り付けない**

落下などの原因となることがあります。

**雨が吹き込むところや水や結露、ほこり、油煙などが混入するところには取り付けない**

発煙や発火、故障の原因となることがあります。



強制

**コードが金属部に触れないように配線する**

金属部に接触するとコードが破損して、火災や感電、故障の原因となることがあります。

# 警告



禁止

**運転者は運転中に操作をしない**

前方不注意となり交通事故の原因となります。必ず安全な場所に停車してから操作してください。

**本機は電池を使用しています**

- ・電池の使用、保管中又は移動中に過度の高温又は低温にさらさない
- ・火中若しくは熱した炉での電池の廃棄、又は電池の機械的な押潰し若しくは切断をしない

発熱・発火・破裂の原因となります。

**端末本体および内蔵バッテリーを液体で濡らさない**

発煙・発火・感電の原因となります。特にお子様が同乗される際はご注意ください。

**画面が映らない、音が出ない、音声割れる、歪むなどの異常・故障状態で使用しない**

思わぬ事故や火災、感電の原因となります。

**通気孔や端子部分などから端末内部に異物を入れない**

金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。発煙・発火・感電の原因となります。特にお子様が同乗される際はご注意ください。

**引火性ガス（プロパンガス、ガソリンなど）の発生するような場所では、電源を切り、使用しない**

引火・爆発の原因となります。

**船舶、航空機、バイク、登山で使用しない**

位置誤差が生じたり、電池がなくなったりして、機能が正常に使用できず事故の原因となります。また、塩害などにより発熱、破裂、発火の原因となります。

**雷が鳴り出したら、端末やケーブル類に触れない**

落雷による感電の危険性があります。



接触禁止



分解禁止

**端末本体および内蔵バッテリーを分解・改造しない**

交通事故や火災、感電の原因となります。



禁止

**風呂場、シャワー室や調理台、加湿器のそばなど、油煙、湿気、ほこりの多い場所で使用しない**

火災、感電の原因となります。

## 注意



禁止

**キャッシュカードを端末に近づけない**  
磁気データが消去されることがあります。

**端末をダッシュボードの上に放置しない**  
変形、電池の破裂、液もれの原因となることがあります。

**シガープラグのプラグを濡らしたり汚したりしない**  
火災・感電の原因となることがあります。濡れたり、汚れたりしたときは、きれいに拭き取ってください。



強制

**音量は、車外の音が聞こえる程度で使用する**  
車外の音が聞こえない状態で運転すると、交通事故の原因となることがあります。

**電源オン時はボリュームに注意する**  
電源オン時に突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となることがあります。



注意

**温度の上昇に注意する**  
端末は、環境や使用状況によって内部温度が上昇する場合があります。ケガや事故の原因となることがありますので、ご注意ください。

## シガープラグに関するご注意

## 警告



禁止

**端末は DC12 V/24 V ⊖アース車専用です。12 V/24 V 車以外では使用しない**

火災の原因となります。

**船舶などの直流 (DC) 電源には接続しない**

火災の原因となります。

**ケーブルや端子部を傷つける、無理に曲げる、ねじる、加工する、重いものをのせる、加熱する、引っ張るなどしない**

ケーブルや端子部が破損し、火災・感電の原因となります。



禁止

**濡れた手でシガープラグを抜き差ししない**

火災の原因となります。

**他の電気製品には使用しない**

付属のシガープラグの USB Type-C<sup>®</sup> のコネクタは、端末のみで使用することを目的とした専用品です。他の電気製品で使用した場合、発熱により火災・感電の原因となります。

**端末に付属のもの以外は使用しない**

他の電源ケーブルを使用した場合、端末の本来の性能が発揮できないことや、電流容量不足による発熱により火災・感電の原因となります。

## 警告



強制

シガープラグはきれいにしておく

シガープラグの端子、および付近にほこりや金属物が付着している場合は、シガープラグを抜いてから、乾いた布で取り除いてください。そのまま使用すると火災、感電の原因となります。

シガープラグはシガーソケットまたはアクセサリースOCKETに根元まで確実に挿し込む

差し込みが不完全な場合、発熱したり、ほこりが付着して火災・ケガの原因となります。

## 注意



強制

使用しないときや、お手入れのとき、移動させる場合はプラグを抜く  
発熱・火災・ケガの原因となることがあります。

### 異常時の問い合わせ

## 警告



強制

万一、異物が入った、水がかかった、煙が出る、変な匂いがするなどの異常が起きた場合は、ただちに使用を中止し、必ずドライブエージェントパーソナル事務局（新型・事故自動通報ドラレコ）に相談する  
そのまま使用すると、思わぬ事故や火災、感電の原因となります。

# 利用上のご注意

- 取扱説明書に記載されている注意事項を守らないことによって生じる不具合に対しては、製造元は責任を負いかねますのでご注意ください。正しく取り扱わなかった場合などは保証の対象外となりますので正しくご利用ください。
- 分配器を使つての接続は、お客様の判断・責任のもとで行ってください。
- お車のエンジンを切り、端末がスリープ状態（ACC OFF）になった場合は、一部の機能を除きご利用いただけません。  
お車のエンジンを切っても、お車からの給電が止まらずに端末がスリープ状態にならない車種（常時電源車など）の場合、端末を利用しないときは必ずシガーソケットまたはアクセサリソケットからシガープラグを抜くか、シガープラグからケーブルを抜いてください。抜き忘れるとお車のバッテリー上がりの原因や、端末の故障の原因となり、正しくサービスが受けられないことがあります。  
※お車によってはエンジンを切ってから給電が止まるまでに時間がかかる場合があります。
- 端末動作の安定性を確保するため、お車のエンジンを切った後に端末をシャットダウンすることがあります。シャットダウン後の初回起動時は、スリープ状態となります。
- 映像記録機能は、カメラユニットから「録画を開始しました」と録画開始のアナウンスが流れましたら使用できます。
- カメラユニットの取り付け位置によっては、サンバイザーおよび装飾品などと接触し、カメラユニットの動作に影響が出る場合がありますので、接触しない位置に取り付けてください。
- 端末の提供するすべての機能は、周囲の安全を保証するものではありません。必ずお客様の目視で安全を確認しながら運転してください。
- 端末の取り付け位置や周辺の電装機器によっては、双方の動作に影響をおよぼす場合があります。
- 端末でご利用のデータやファイルが破損したり消去されたりしてしまった場合、データを復元することはできません。

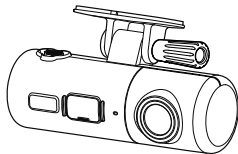
- 以下のような場所にいるときは、GPS 衛星の電波が受信できないため、GPS による測位ができないことがあります。
    - － トンネルの中や立体駐車場、地下駐車場など
    - － 2層構造の高速道路の下など
    - － 高層ビルの群集地帯など
    - － 密集した樹木の間など
  - 長い時間 GPS による測位ができない場合、製品が自車位置を正しく認識できなくなる場合があります。このような場合でも、GPS の電波を受信してしばらく走行すると正しい位置に修正されます。
  - 端末にペンキや車のワックスを塗らないでください。感度が低下したり、電波を受信できなくなることがあります。
  - バッテリーユニットに内蔵しているバッテリーは消耗品です。バッテリー交換時期を知らせるメッセージが表示された場合は、ドライブレコーダーエージェントパーソナル事務局（新型・事故自動通報ドラレコ）にご連絡ください。そのままご利用を続けた場合、事故発生時などに、適切なサービスを提供できない可能性があります。
  - 端末は、電気通信事業法および電波法に基づく設計認証を取得しています。取得した設計認証番号およびマークはシステム設定で確認できます。→ P.94 の「法的情報を確認する」
- \* ドライブエージェントパーソナル事務局（新型・事故自動通報ドラレコ）の連絡先は裏表紙をご確認ください。

## microSD カードの取り扱いに関するご注意

- microSD カードは、バッテリーユニットに挿入された状態でお届けします。
- バッテリーユニットに付属の microSD カードを使用してください。市販の microSD カードでも動作はしますが動作の保証はできません。
- バッテリーユニットは、microSDXC カード (64 GB ~ 512 GB) に対応しています。ただし、すべての microSD カードの動作を保証するものではありません。
- microSD カードを取り出す場合は、端末の電源を必ずオフにしてから取り出してください。お車のエンジンをオフにただけでは端末の電源はオフになりません。→ P.60 の「端末の電源をオフにする」  
電源がオンの状態で取り出すと、microSD カード内のデータやカード自体が破損する恐れがあります。
- microSD カードは消耗品です。長期間使用した場合や日常使用の場合であっても正常に書き込みや消去などの動作をしなくなる場合があります。microSD カードの異常を知らせるメッセージの表示が繰り返される場合にはドライブエージェントパーソナル事務局 (新型・事故自動通報ドラレコ) にご連絡ください。
- まれに、お持ちのパソコンなどで認識できている付属の microSD カードが端末で認識しない場合があります。この場合、microSD カードの不具合状態によっては、端末の microSD カード初期化作業により認識する場合があります。→ P.91 の「microSD™ カードを初期化する」
  - microSD カード初期化を行った場合は、録画した映像ファイルなど microSD カードに記録されたデータがすべて消失されます。microSD カード初期化の際は、お客様で必ず microSD カードデータのバックアップを作成してから行ってください。
  - microSD カード初期化作業による microSD カードの不具合修復を製造元が保証するものではありません。また、本作業により、microSD カードのデータ消失並びに、その他損害が発生した場合は、製造元として責任を負えません。お客様の判断・責任のもとで microSD カード初期化作業は実行してください。
  - microSD カード初期化をしても認識しない場合は、ドライブエージェントパーソナル事務局 (新型・事故自動通報ドラレコ) にご連絡ください。
- \* ドライブエージェントパーソナル事務局 (新型・事故自動通報ドラレコ) の連絡先は裏表紙をご確認ください。

# 付属品を確認する

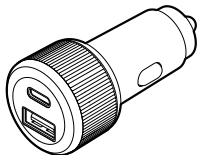
カメラユニット



バッテリーユニット



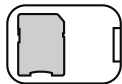
シガープラグ



microSDXC カード (64GB)  
(バッテリーユニットに装着済み)



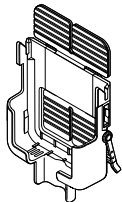
SD カードアダプター



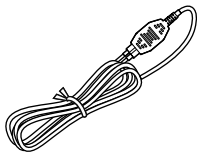
アルコールクリーナー



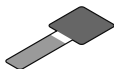
バッテリーユニット用ブラケット



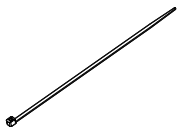
ケーブル



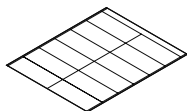
面ファスナー



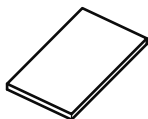
結束バンド



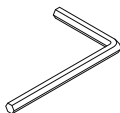
ケーブル固定用テープ



取扱説明書



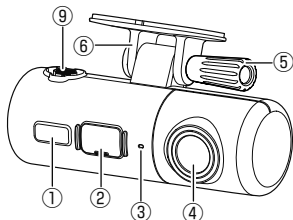
六角レンチ



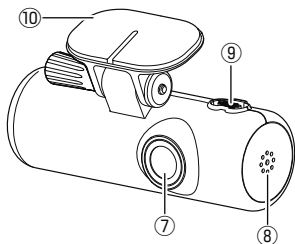
# 端末各部の名称と主な働き

## カメラユニット

車内側

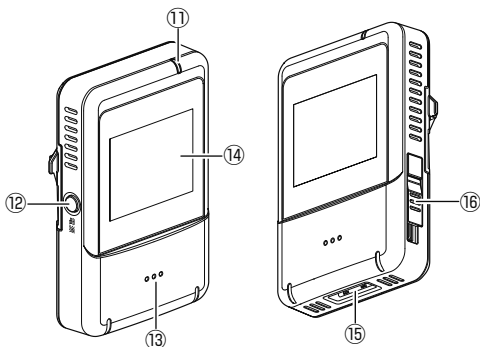


前方側



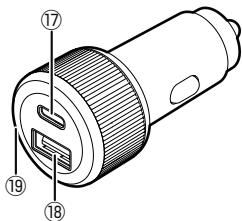
① キャンセルボタン	事故連絡を行うための画面での中止操作に使用します。
② SOS ボタン (LED 付き)	事故連絡時、および強制発報時に使用します。 中小衝撃発生時の赤点滅： 短押しにより事故連絡します。 消灯時： 3 秒以上長押し、または 3 秒以内に 4 回連続押しして強制発報します。
③ マイク	通話時または録画の際の音声を集音します。
④ 車内カメラ	車内の映像を撮影します。
⑤ カメラユニット固定ネジ	カメラユニットと台座の固定や角度調整時に使用します。
⑥ 台座	カメラユニットをフロントガラスに取り付けるための部品です。
⑦ 前方カメラ	お車前方の映像を撮影します。
⑧ スピーカー	カメラユニットの音声メッセージと警告音等が流れます。
⑨ 専用コネクター	付属のケーブルを接続する端子です。
⑩ 両面テープ (はくり紙付き)	台座をフロントガラスに貼り付けるために使用します。

## バッテリーユニット



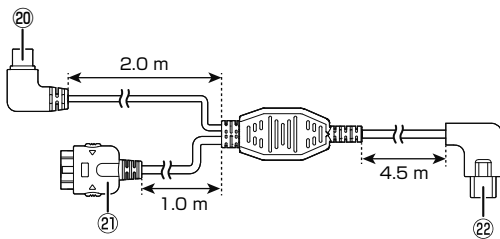
⑪ステータス LED	端末の状態をステータス LED の色や点灯状態により示します。→P.22の「ステータス LED・SOS ボタン LED の表示について」
⑫電源ボタン	押すたびに画面の表示 / 非表示が切り替わります。端末がシャットダウンしている状態で、電源ボタンを2秒押した場合、端末を起動します。起動中に2秒以上押し続けると電源オフ操作になります。→P.60の「端末の電源をオフにする」 また、10秒以上押し続けると端末が再起動します。
⑬ブザー	カメラユニットとの接続が外れた場合の通知用で、ブザー音が鳴ります。
⑭液晶ディスプレイ・タッチパネル	カメラユニットで録画した映像や、各種設定を行うための画面を表示します。パネルを直接タッチして、各種操作を行います。→P.20の「タッチパネルの操作方法」
⑮専用コネクター	付属のケーブルを接続する端子です。
⑯microSD カード スロット	付属の microSD カードを装着します。 →P.123の「microSD カードの交換について」

## シガープラグ



<p>①⑦ USB Type-C コネクター</p>	<p>端末専用の電源供給用の端子です。 ※端末以外の機器の接続はできません。接続した場合は、機器の故障や、発熱により火災・感電の原因となります。</p>
<p>①⑧ USB Type-A コネクター</p>	<p>他の電気機器の電源供給用の端子としてご利用いただけます。(端末の接続には使用しません)</p>
<p>①⑨ 給電インジケーター</p>	<p>給電状態の時は枠が青く点灯します。</p>

## ケーブル



<p>②⑩ USB Type-C 端子</p>	<p>シガープラグの USB Type-C コネクター (①⑦) に接続します。</p>
<p>②⑪ バッテリーユニット用端子</p>	<p>バッテリーユニットの専用コネクター (①⑤) に接続します。</p>
<p>②⑫ カメラユニット用端子</p>	<p>カメラユニットの専用コネクター (①⑨) に接続します。</p>

# タッチパネルの操作方法

## タッチパネルの操作

バッテリーユニットの画面の項目に直接タッチして操作します。画面を上下になぞってスクロールすることもできます。



# ホーム画面に表示されるアイコンについて

ホーム画面の下部のステータスバーにはさまざまなアイコンが表示され、内蔵バッテリーの残量や通信状況など端末の状態を確認できます。



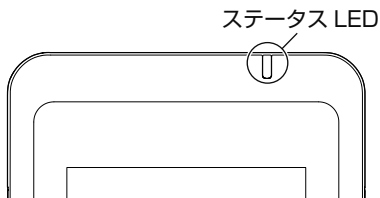
①		GNSS 電波取得中
		GNSS 電波取得準備中 / 未測位
		GNSS 圏外 / 測位不可
②		アップデートデータをダウンロード済み
		アップデートデータをダウンロード中
③		録音中（赤色）
④		イベント録画中（青色）
		常時録画中（赤色）
		録画停止中（アイコン非表示） ※録画なし：録画可能
		録画不可 ※録画不可能（SD 異常、SD 未挿入など）
⑤		通信の電波強度
		通信圏外
⑥		内蔵バッテリーの充電状況

①～④のアイコンの順は図の通りにならない場合があります。

# ステータス LED・SOS ボタン LED の表示について

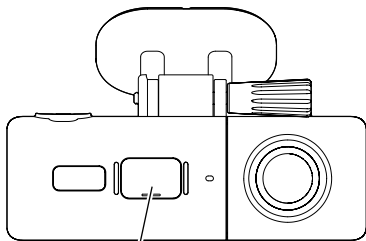
端末の状態をバッテリーユニットのステータス LED およびカメラユニットの SOS ボタン LED の表示で確認できます。

## バッテリーユニット



端末の状態	LED 表示
常時録画中	赤点灯
イベント録画中	青点灯
録画停止中 (録画開始前 など)	緑点灯
録画不可 (内蔵バッテリーのみで動作中、microSD カードの異常/未挿入/初期化中 など)	緑点滅
スリープ状態中または電源オフ時	消灯

## カメラユニット



SOS ボタン LED

端末の状態	LED 表示
常時録画中 / イベント録画中	赤点灯 (低輝度)
通話中	赤点灯 (高輝度)
事故連絡を行うかどうか (手動) の確認中	赤点滅
事故受付センターからの着信中	
録画停止中、スリープ状態中、電源オフ時	消灯

事故連絡デモ時には、実際の挙動に則したLEDの点灯をします。  
(→P.43)

# 端末を取り付ける

## 取り付ける前に知ってほしいこと

### ⚠ 警告

- 付属のシガープラグの USB Type-C コネクタは、本端末のみで使用することを目的としております。他の電気製品で使用した場合、発熱により火災・感電の原因となります。また、本端末には付属のシガープラグ以外は使用しないでください。他のシガープラグを使用した場合、端末の本来の性能が出ないことや、電流容量不足による発熱により火災・感電の原因となります。
- 付属のケーブルの被膜を切って、他の機器の電源を取るなど、分岐配線をしてください。ケーブルの電流容量がオーバーし、ケーブルが過熱して、火災や感電、故障の原因となります。

### ⚠ 注意

- 可能な限り、付属のシガープラグをご使用ください。
- 本製品は車両の USB Type-C 端子電源出力 (2.1 A 以上) に接続してもご使用いただけません\*。  
※車種や車両バッテリーの状態により、電源が不安定な場合、本製品の誤動作や充電不良の原因となることがあり、付属のシガープラグ以外での動作を保証するものではありません。
- 分配器を使つての接続は、お客様の判断・責任のもとで行ってください。
- 取り付け作業は、お車を平らな場所に駐車し、かつ通信圏内で行ってください。
- バッテリーユニットとカメラユニットの台座の両面テープは貼り直すことができません。一度貼り付けした両面テープを剥がすと粘着力が弱くなります。貼り付ける位置および付属のケーブルが引けるかを十分に検討してから貼り付けてください。
- 端末を取り付けるときは、お車の取扱説明書を確認して自動ブレーキなどの「運転支援システム」の妨げにならない場所を選んで取り付けてください。不明な場合は、自動車メーカー様、自動車ディーラー様にご相談ください。
- 保安基準に適合させるため、本書をよくお読みになり、正しく取り付けてください。保安基準とは、道路運送車両の保安基準第 29 条および細目を定める告示第 195 条 (平成 28 年 6 月 18 日施工)、道路運送車両の保安基準第 21 条および細目を定める告示第 183 条 (平成 29 年 6 月 22 日施行) をいいます。
- カメラユニットは、フロントガラス取り付け専用です。フロントガラス以外や車室外には取り付けしないでください。
- カメラユニットは、必ずフロントガラスの指定の位置・寸法内に取り付けてください。

- 端末を覆ったり、カメラを汚したりしないでください。
- 端末を落としたり、カメラユニットのカメラ部分に触れたりしないよう、取り扱いには十分ご注意ください。
- お車によって、指定の位置や寸法内に取り付けられないことがあります。
- お車のフロントガラスに特殊加工（熱線反射ガラスや断熱ガラス、電波不透過ガラスなど）が施されている場合は、GPSの受信や録画品質に影響する可能性があるため、取り付け後にGPSのアイコン表示を確認して（→P.21の「ホーム画面に表示されるアイコンについて」受信をしていないようなら、ドライブエージェントパーソナル事務局（新型・事故自動通報ドラレコ）にお問い合わせください。
- カメラユニットを取り付けるお車のフロントガラスの上部に遮光フィルムが施されている場合は、カメラ部分が遮光フィルムにかからない場所に取り付けてください。遮光フィルムにかかると録画品質（映像が青くなるなど）に影響する可能性があります。
- 取り付け作業は接着力の低下を防ぐため、空気中にゴミ、ほこりなどが少ない場所を選んで行ってください。
- 気温が低いときやガラスがくもっている場合は、接着力の低下を防ぐため、車内ヒーターやデフロスタースイッチをオンにしてフロントガラスを温めてから取り付けを行ってください。
- お車のエンジンを切っても、車両からの給電が止まらずに端末がスリープ状態にならない車種（常時電源車など）の場合、端末を利用しないときは必ずシガーソケットまたはアクセサリースOCKETからシガープラグを抜くか、シガープラグからケーブルを抜いてください。抜き忘れるとお車のバッテリー上がりの原因や、端末の故障の原因となり、正しくサービスが受けられないことがあります。  
※お車によってはエンジンを切ってから給電が止まるまでに時間がかかる場合があります。
- 端末がお手元に届きましたら、保険契約の始期日までに対象のお車に取り付けてください。
- 取り付けにあたっては、端末に同梱するクイックスタートガイドおよび本書をよくお読みください。

- 「取付サポートをご希望される場合」や「ご契約者ご自身では取り付けができないお車の場合」には、ドライブエージェントパーソナル事務局（新型・事故自動通報ドラレコ）にご相談ください。

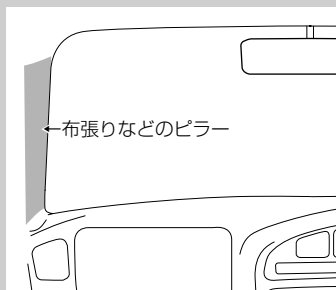
#### ご契約者ご自身では取り付けできないお車（例）

例 1：ピラーの表面を確認し、【SRS】【AIRBAG】などの表示があるお車の場合



写真は一例です。

例 2：ピラー周囲のゴムをめくることができず、かつピラー表面が布張りなどケーブル固定テープが貼り付けられない素材のお車の場合



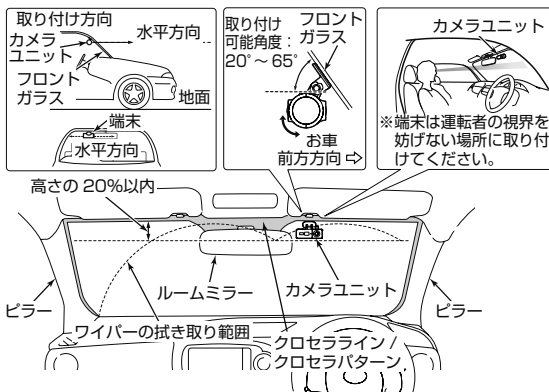
例 3：運転席や助手席のセンターコンソールの足回り部分が布製や合皮などの素材でバッテリーユニットを固定するためのブラケットを取り付ける事ができないお車の場合

\* ドライブエージェントパーソナル事務局（新型・事故自動通報ドラレコ）の連絡先は裏表紙をご確認ください。

## 取り付け指定位置について

カメラユニットの取り付けに必要な以下の条件をすべて満たす位置を探してください。その位置を"取り付け予定位置"として取り付け作業を進めてください。

- カメラユニットを助手席側に取り付ける場合は、カメラユニット固定ネジを緩めてカメラユニットが取り外せる程度に右側に余裕をもって取付を行ってください。
- カメラユニットの全体がフロントガラスの高さの上縁から 20% 以内の位置（ガラス開口部の実長の 20% 以内）
- カメラユニットの前方カメラ部分がワイパーの拭き取り範囲内に入る位置
- カメラユニットの前方カメラ部分がサンシェードやクロセラライン・クロセラパターンにかからない位置
  - － クロセラライン、クロセラパターン：フロントガラス端の黒色のドットや網目状の日よけ
- 車検ステッカーやルームミラーと重ならない位置
- 運転席からカメラユニットに手が届く位置
- カメラユニットのボタンが見やすく運転者の視界の妨げにならない位置
- カメラユニットの車内カメラがルームミラーに被らない位置
- テレビフィルムアンテナに干渉しない位置
- 付属のケーブルが無理なく引ける位置
- 車内カメラ撮影時、運転者の顔が運転姿勢で確認できる位置

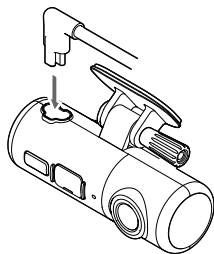


## カメラユニットの取り付け方

- 1** 付属のケーブルのUSB専用端子 (Type-C) をカメラユニット上面のUSB専用端子 (Type-C) に挿し込みます

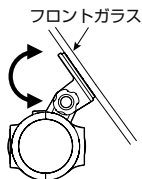
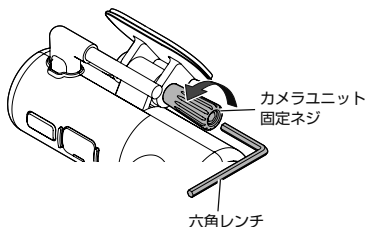
USB専用端子の向きは決まっていますので、右図の向きになるように挿し込んでください。

カメラレンズのカバーシート (青) を剥がしてください。



- 2** 指または付属の六角レンチでカメラユニット固定ネジを緩め、フロントガラスの傾斜に合わせてカメラユニットのカメラが垂直になるように角度を調整します

手順5に進むまで台座の両面テープはくり紙を剥がさないでください。



### ⚠ 注意

- 前方カメラの周囲に車検シールや車両設備、バックミラーなどが映り込まないように場所を選び、車内カメラ側にはバックミラーが映り込まないように場所に設置してください。

### 3 垂直になるように角度を調整したら、カメラユニット固定ネジを締め付けてください

固定ネジが緩まないように、最後に付属の六角レンチで増し締めしてください。

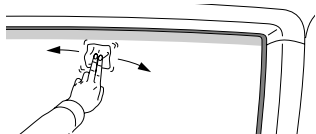
#### メモ

● カメラの映りを確認しながら取付位置を決定したい場合は、以下の手順で映像を確認しながら作業することも可能です。

1. ケーブルにバッテリーユニットとシガープラグを挿します。  
(仮置きのため、まだケーブル、バッテリーユニットの取り付け方(→P.31)に沿ってお車に固定する必要はありません)
2. シガープラグをお車のシガーソケットまたはアクセサリソケットに接続します。
3. お車のエンジンをかけます。(→P.39の「端末の起動」)
4. カメラの映像をご確認の上、カメラユニットの取り付け位置を調整してください。(→P.39の「チュートリアル」の手順3～5)

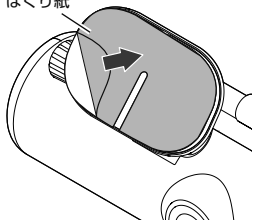
※上記手順でカメラの映像を先行してご確認された場合は、次回起動時はチュートリアル(→P.39)の手順4から再開します。

### 4 付属のアルコールクリーナーで取り付け予定位置の汚れ、油分などを取り除きます



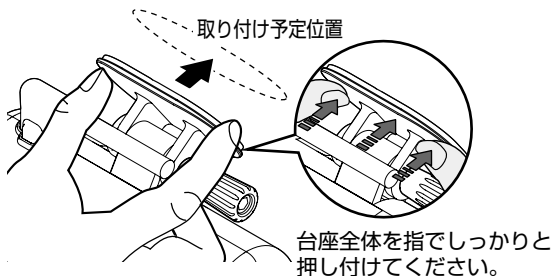
### 5 台座の両面テープはくり紙を剥がします

両面テープ  
はくり紙



## 6 「取り付け指定位置について」(→P.27)に従って、カメラユニットを取り付け予定位置に貼り付けます

カメラレンズのカバーシート(青)を手順1で剥がしてない場合は剥がしてください。



### ⚠ 注意

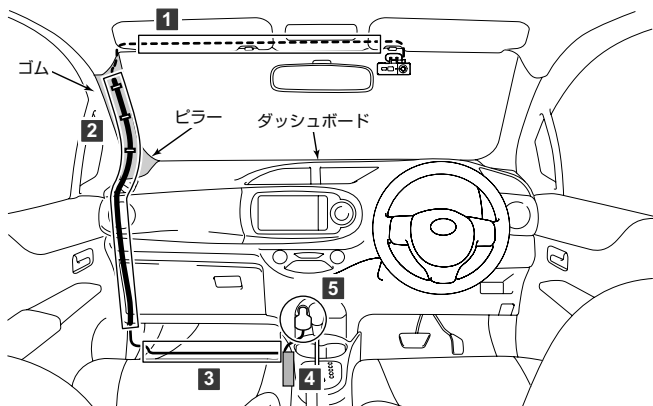
- 手順4のフロントガラスの表面が乾いてから、台座を貼ってください。
- 台座の両面テープは一度貼り付けると貼り直しが困難なため、十分ご注意ください。無理に貼り直しを行うと、両面テープの粘着力が低下するため、端末の落下につながる可能性があります。
- 端末固定ネジがしっかり締められていない場合は、頻繁に事故かどうかを確認する画面が表示されたり、急操作警告音が鳴ることがあります。

## 7 「ケーブル、バッテリーユニットの取り付け方」(→P.31)に進みます

## ケーブル、バッテリーユニットの取り付け方

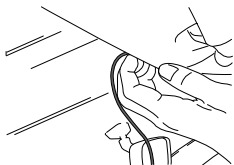
### ⚠ 注意

- バッテリーユニットはエアバックのある助手席ダッシュボードや、サイドエアバック、カーテンエアバック、ハンドルのエアバック部等に取り付けないでください。
- ピラーカバー内およびフロントガラスと天井の間隙の金属部やプラスチック部は鋭利になっている場合があります。軍手等の手袋を着用して、手を保護して作業することをお勧めします。
- 金属部にケーブルがめくれて接続すると、ショートの原因になりますのでご注意ください。
- バッテリーユニットはグローブボックスを開けたときに干渉しないように取り付けてください。
- 座席を前にしてもケーブルやバッテリーユニットと当たらない位置に配置してください。



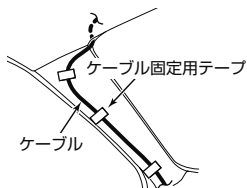
# 1 フロントガラスの上にケーブルを挟みます

端末から延びるケーブルを、手でガラスと天井の隙間に押し込みます。



# 2 プラーに沿ってケーブルを通します プラーカバーにケーブル固定用テープでケーブルを固定します。

ダッシュボード脇にケーブル固定用テープでケーブルを固定します。



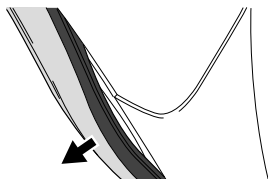
## ⚠ 注意

- ケーブル固定用テープはフロントガラスには貼らないでください。

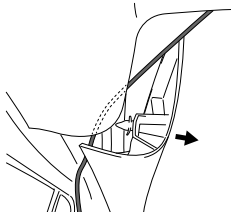
## ケーブルを隠したい場合

ピラー周囲のゴムをめくることができ、隙間が作れるお車の場合

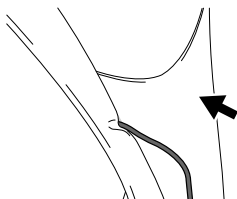
ピラーカバー上端の周囲のゴムをつまみ、下に引いて剥がしてください。剥がしたゴムは、押し込めば簡単に元に戻すことができます。



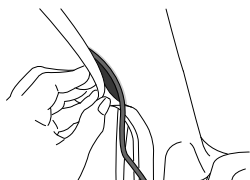
空いたゴムの隙間から指を入れてピラーカバーを外し、ピラーの中を通してケーブルをゴムのところまで引きます。ピラーカバーを外す際は手前に引っ張る要領で力を入れてください。



ピラーカバーを閉じ、ゴムを押し込んで戻します。



ピラー周囲のゴムをめくり、中にケーブルを挟み込んでダッシュボードの脇までおろします。



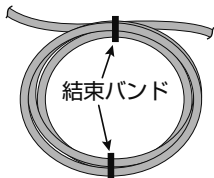
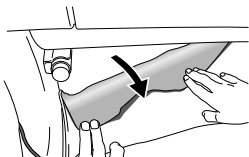
ダッシュボードの脇まで来たら、ケーブルをダッシュボードとゴムの間に押し込み、床までケーブルを持ってきます。

\*ケーブルをダッシュボード脇のゴムの中に押し込めない場合は、ケーブル固定用テープでダッシュボード脇に貼りつけてください。



### 3 フロアマットを剥がし、下にケーブルを納めます

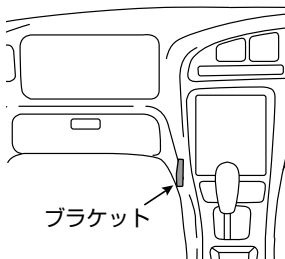
ケーブルの長さが余る場合は、右図のように丸くケーブルを束ねて同梱の結束バンドで2か所を止めてからフロアマットの下に収納してください。ケーブルの長さは必要以上に突っ張らない様に、余裕を持たせて配線してください。



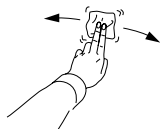
### 4 右図のように助手席右側足元になるようにブラケット取り付け予定位置を決めます

右側足元が基本ですが、そこに取り付けられない場合は助手席左側足元でも可能とします。貼り付け位置は樹脂製の部分で平らな場所を選んでください。

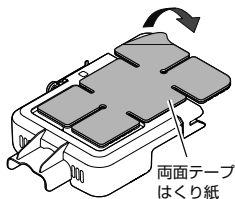
助手席に端末を取り付けた場合等で端末を操作するときは、必ず安全な場所に停車してから操作してください。



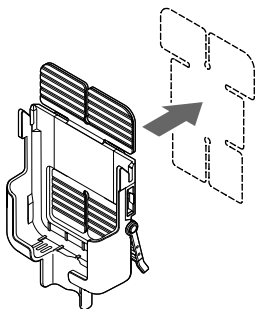
- 5 付属のアルコールクリーナーで  
取り付け予定位置の汚れ、油分  
などを取り除いてください



- 6 ブラケットの両面テープはくり紙  
を剥がします



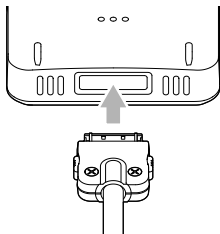
- 7 ブラケットの両面テープの部分  
全体を押し付けるようにして貼  
り付けます



**⚠ 注意**

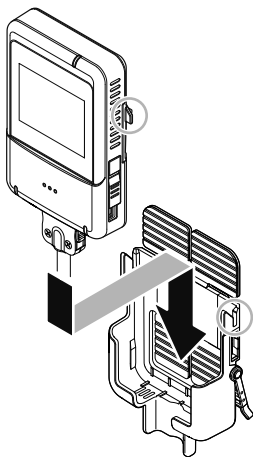
- 手順5の取り付け予定位置の表面が乾いてから、台座を貼ってください。
- ブラケットの両面テープは一度貼り付けると貼り直しが困難なため、十分ご注意ください。無理に貼り直しを行うと、両面テープの粘着力が低下するため、端末の落下につながる可能性があります。

**8** 付属のケーブルの専用端子を  
バッテリーユニットに差し込み  
ます

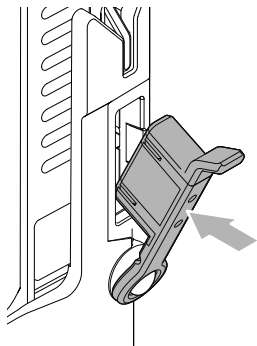


**9** ブラケットにバッテリーユニッ  
トを取り付けます

右図の丸の囲みを参考にバッテ  
リーユニット横の突起をブラケッ  
トの溝にはまるように奥までしっ  
かり差し込んでください。

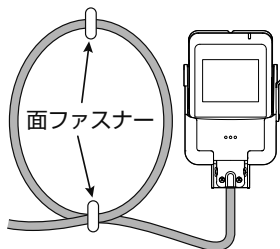


- 10 ブラケットの "LOCK" 部を押し込みバッテリーユニットを固定します

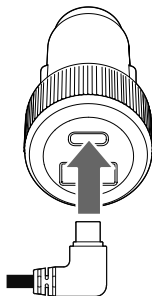


- 11 ケーブルを約 30 cm ほど余剰を確保して足に引っ掛けないように、右図を参考に面ファスナーをブラケットと同じ場所に貼り付けて、ケーブルを 2箇所固定します

バッテリーユニットを操作する場合は、面ファスナーを外してケーブルを延長した状態でブラケットから取り外して操作してください。



- 12 付属のシガープラグにケーブルの USB 端子 (Type-C) を差し込みます



## 13 シガープラグをお車のシガーソケットまたはアクセサリースocketに接続します



### ⚠ 注意

- 付属ケーブルの被膜を切って、他の機器の電源を取るなど、分岐配線をしないでください。電源ケーブルの電流容量がオーバーし、ケーブルが過熱して、火災や感電、故障の原因となります。
- お車のエンジンを切っても、車両からの給電が止まらずに端末がスリープ状態にならない車種（常時電源車など）の場合、端末を利用しないときは必ずシガーソケットまたはアクセサリースocketからシガープラグを抜くか、シガープラグからケーブルを抜いてください。抜き忘れるとお車のバッテリー上がりの原因や、端末の故障の原因となり、正しくサービスが受けられないことがあります。  
※お車によってはエンジンを切ってから給電が止まるまでに時間がかかる場合があります。

### 取り付けの確認

正しく取り付けできたか確認してください。

- カメラユニットは運転席から手の届く位置に取り付けられていますか？ (→ P.27)
- 車内カメラはルームミラーに重なっていませんか？ (→ P.27)
- カメラユニットの固定ネジはしっかりと締まっていますか？ (→ P.28)

## 端末の起動

### 1 お車のエンジンをかけます

お車が平らで安全な場所に止まっている状態でエンジンをかけてください。

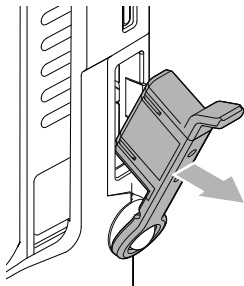
お車のエンジンと連動して、端末の電源がオンになります。

お車のエンジンをかけるときは、端末のボタンに触れないようにしてください。

初回起動時は引き続き、「チュートリアル」(→P.39)を行ってください。

## チュートリアル

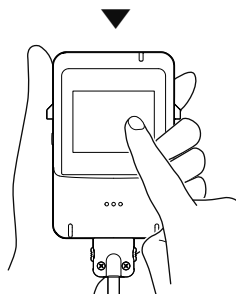
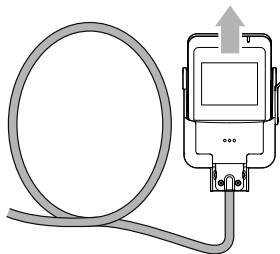
### 1 ブラケットの "LOCK" 部を解除します



## 2 ケーブルを面ファスナーから外して、延長された状態でブラケットからバッテリーユニットを取り外します。以降、バッテリーユニットをお手元で操作します

取り付けるときは、外した手順とは逆の手順で取り付けてください。

(→ P.31)

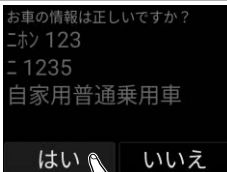


### ⚠ 注意

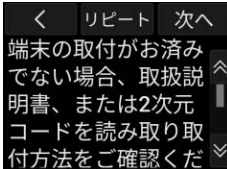
- ケーブルはバッテリーユニットに接続したままご使用ください。ケーブルを外すとブザー音が鳴ります。

## 3 登録情報を確認し、間違いがなければ【はい】をタッチします


登録情報に誤りがあった場合は、これ以上説明画面を進めることができません。【いいえ】をタッチして画面の指示に従ってください。



#### 4 取付方法の案内が表示されますので、【次へ】をタッチします



#### 5 カメラの映像を確認し、問題がなければ【次へ】をタッチします

 をタッチすると前方カメラ / 車内カメラが切り替わります。



初期動作確認

#### メモ

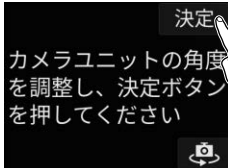
- カメラの角度調整は固定ネジを一度緩めてから、カメラの角度を調整して、また固定ネジを締めてください。目安として画面に映る地面（道路）の割合が半分以上となるようにカメラレンズの角度を調整します。



#### 注意

- 調整するときは固定ネジを緩めて行ってください。ネジを締めた状態で角度調整を行うと台座がはがれる原因となったり、台座とカメラの嵌合部分が破損する可能性があります。

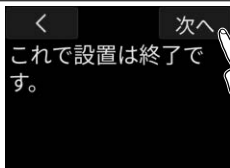
- 6** カメラユニットの角度に問題がある場合は右図のメッセージが表示されるので、角度を調整して【決定】をタッチします



### メモ

- カメラユニットの設置が正しく完了しないと下記の機能が使えません。
  - ・ 端末メッセージ表示機能
  - ・ イベント録画
  - ・ 衝撃検知、急操作検知、要注意運転アラート等の各検知機能
  - ・ 音声通話

- 7** これで設置は終了です引き続き【次へ】をタッチするか、音声案内後 4 秒経過すると、事故連絡のデモが始まります (→ P.43)



### メモ

- 初期動作確認中にお車のエンジンを切ると、再度エンジンをかけたときに初期動作確認および事故連絡デモが始まります。初期動作確認中は、端末から指示があるまでエンジンを切らないでください。

# 事故連絡デモ機能

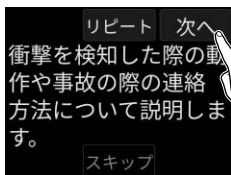
## 事故連絡デモの確認

事故連絡デモ（衝撃を検知した際の事故連絡に関する説明）の確認が行えます。

### 1 事故連絡デモを開始する場合は【次へ】をタッチします

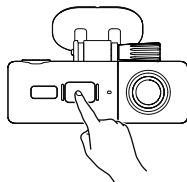
【リピート】にタッチすると、再度音声再生されます。

【スキップ】にタッチすると、説明をスキップするかの確認がありますので【はい】、【いいえ】をタッチして選択してください。



### 2 衝撃検知発報のデモを開始しますので、カメラユニットの【SOS】ボタンを押してください

デモのため、実際に事故受付センターには通話されません。

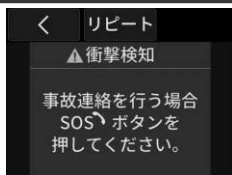


### 3 呼び出し音の後で、案内音声 が流れます

案内音声終了後、4秒経過したら次の画面に移ります。



### 4 発報キャンセルのデモを開始 します



### 5 手動での発報デモを開始します ので、カメラユニットの【SOS】 ボタンを3秒以上長押し、または 3秒以内に4回押ししてくだ さい



## 6 呼び出し音の後で、案内音声 が流れます

案内音声終了後、4秒経過したら次の画面に移ります。

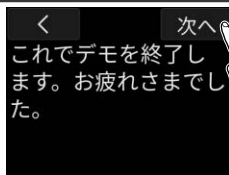


## 7 急ブレーキや急ハンドル、急 アクセルを検知した場合のガイ ドが表示されます

案内音声終了後、4秒経過したら次の画面に移ります。



## 8 事故連絡デモを終了しますの で【次へ】をタッチします



## 9 事故連絡デモが終了したら、取り付けおよび初期設定の説明は終了です

ご使用を開始していただけます。

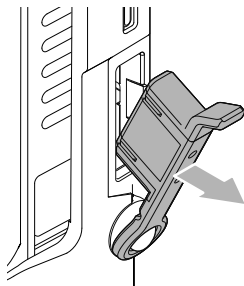
# 端末の付け替えについて

## 端末を別のお車に付け替える場合

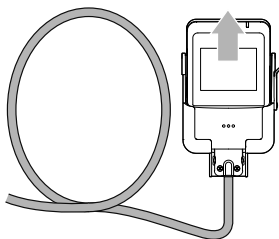
お車の買い替えなどで、端末を別のお車に付け替える場合は次の手順で付け替えてください。お手元に付替え用キットが無い場合は、ドライブエージェントパーソナル事務局（新型・事故自動通報ドラレコ）にお問い合わせください。

\* ドライブエージェントパーソナル事務局（新型・事故自動通報ドラレコ）の連絡先は裏表紙をご確認ください。

- 1 ブラケットの "LOCK" 部を解除します



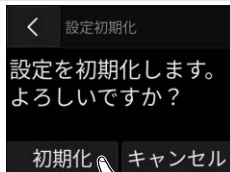
- 2 ケーブルを面ファスナーから外して、延長された状態でブラケットからバッテリーユニットを取り外します



### 3 バッテリーユニットの設定を初期化します

設定を初期化する画面を表示して設定を初期化してください。→P.92の「端末の設定を初期化する」

設定の初期化が完了したら、端末の電源をオフにします。→P.60の「端末の電源をオフする」

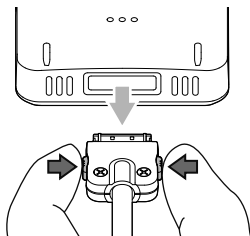


#### メモ

- 設定初期化をしても映像データは残ります。映像も消去したい場合、端末でSDカード初期化を行ってください。→P.91の「microSD™カードを初期化する」

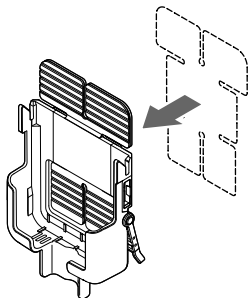
### 4 ケーブルの専用端子をバッテリーユニットから引き抜きます

専用端子を左右から押しながら引き抜いてください。



## 5 お車からブラケットを取り外します

廃車などでブラケットがそのまま残ってもかまわない場合、本作業は不要です。

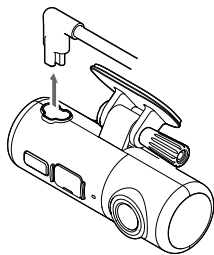


### メモ

- 必要に応じて、付替え用キットに付属のへらをお使いください。
- 両面テープを剥がすには強い力が必要です。事故やケガの原因とならないよう十分ご注意ください。

続いて、カメラユニットをお車から取り外す作業を行います

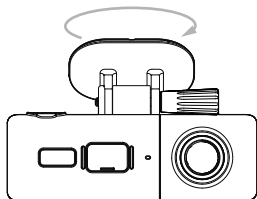
## 6 接続ケーブルをカメラユニットから抜きます



## 7 台座の根元にゆっくりと横向きに力をかけフロントガラスから台座ごとカメラユニットを取り外します

廃車などで台座がそのまま残ってもかまわない場合、本作業は不要です。

フロントガラス等を傷つけないため、力はゆっくりとかけてください。



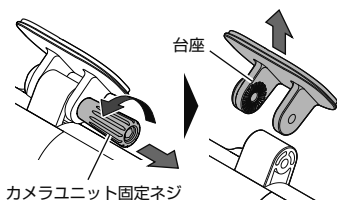
### メモ

- 必要に応じて、付替え用キットに付属のへらをお使いください。
- 両面テープを剥がすには強い力が必要です。事故やケガの原因とならないよう十分ご注意ください。

## 8 カメラユニット固定ネジをまわし、台座をカメラユニットから取り外します

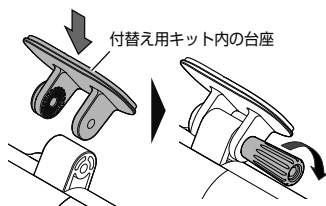
カメラユニット固定ネジをまわして台座から取り外してください。

必要に応じて、付属品の六角レンチをご使用ください。

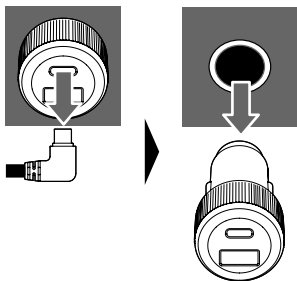


## 9 新しい台座をカメラユニットに取り付けます

付替え用キット内の台座をカメラユニット固定ネジで取り付けてください。



- 10** シガープラグからケーブルを抜いて、お車のシガーソケットからシガープラグを抜きます



- 11** 結束バンドやケーブル固定用テープを取り除いて、接続ケーブルをお車から外します（→P.31の「ケーブル、バッテリーユニットの取り付け方」手順3、2、1の順で外していきます）

**メモ**

- 面ファスナーをお車から外すときは必要に応じて、付替え用キットに付属のへらをお使いください。
- 結束バンドをニッパー等で切るときは、ケーブルを傷つけないように十分注意してください。
- ピラー内部にケーブルを這わしている等、お客様ご自身でケーブルを外すことが出来ない場合は、ドライブエージェントパーソナル事務局（新型・事故自動通報ドラレコ）にご相談ください。

- 12** 新しいお車に外した端末や付属品を取り付けます（→P.24の「端末を取り付ける」）

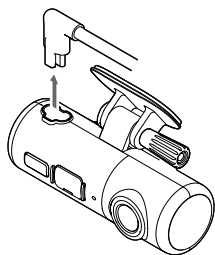
## お使いのお車の端末を交換する場合

故障等によりお使いのお車の端末を交換する場合は、ドライブエージェントパーソナル事務局（新型・事故自動通報ドラレコ）に代替品をお申し込みください。代替品がお手元に到着後、次の手順で交換してください。

\* ドライブエージェントパーソナル事務局（新型・事故自動通報ドラレコ）の連絡先は裏表紙をご確認ください。

## カメラユニットの交換

### 1 接続ケーブルをカメラユニットから抜きます

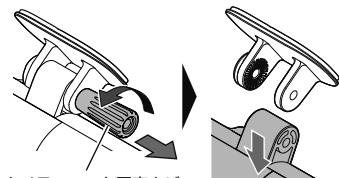


端末の付け替え方

### 2 カメラユニット固定ネジをまわし、カメラユニットを台座から取り外します

カメラユニット固定ネジをまわして台座から取り外してください。

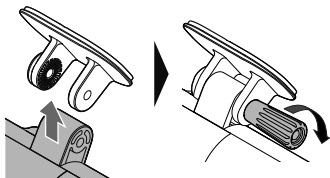
必要に応じて、付属品の六角レンチをご使用ください。



カメラユニット固定ネジ

### 3 台座に代替品のカメラユニットを取り付けます

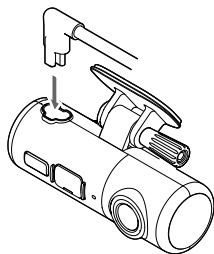
カメラユニット固定ネジで取り付けてください。



### 4 ケーブルをカメラユニットに挿し込みます

USB 専用端子の向きは決まっていますので、右図の向きになるように挿し込んでください。

カメラレンズのカバーシート（青）を剥がしてください。

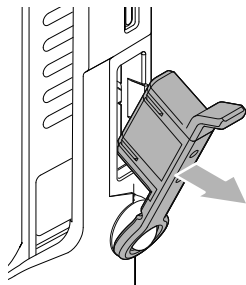


### 5 垂直になるように角度を調整したら、カメラユニット固定ネジを締め付けてください

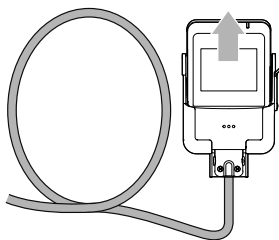
固定ネジが緩まないように、最後に付属の六角レンチで増し締めしてください。

## バッテリーユニットの交換

- 1 ブラケットの "LOCK" 部を解除します



- 2 ケーブルを面ファスナーから外して、延長された状態でブラケットからバッテリーユニットを取り外します

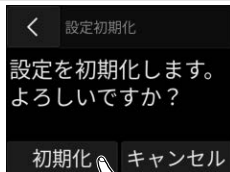


端末の付け替え方

### 3 バッテリーユニットの設定を初期化します

設定を初期化する画面を表示して設定を初期化してください。→P.92の「端末の設定を初期化する」

設定の初期化が完了したら、端末の電源をオフにします。→P.60の「端末の電源をオフする」

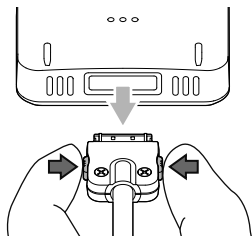


#### メモ

- 設定初期化をしても映像データは残ります。映像も消去したい場合、端末でSDカード初期化を行ってください。→P.91の「microSD™カードを初期化する」

### 4 ケーブルの専用端子をバッテリーユニットから引き抜きます

専用端子を左右から押しながら引き抜いてください。



### 5 代替品のバッテリーユニットを取り付けます (→P.31の「ケーブル、バッテリーユニットの取り付け方」手順7~10)

シガープラグをシガーソケットまたはアクセサリースOCKETに差し、お車のエンジンをかけてください。端末の初期動作確認が開始されます。→P.39の「チュートリアル」

# 端末の主な機能

利用場面に応じ、端末は以下の機能を提供します。

## 事故が起きたときの機能

- 自動での事故連絡および映像送信機能  
→ P.64 の「自動で事故連絡をする」
- 緊急での発報および映像送信機能（SOS 発信機能）  
→ P.66 の「事故受付センターへ緊急連絡をする（SOS 発信機能）」
- 手動での事故連絡および映像送信機能  
→ P.64 の「手動で事故連絡をする」
- 手動での映像確認および映像送信機能  
→ P.69 の「事故映像を確認する」  
→ P.79 の「イベント録画から映像を転送する」
- パソコンによる映像送信機能  
→ P.100 の「PC アプリ「ドライブエージェントパーソナル」」

## 日常の運転中の機能

- 運転中の機能
  - 映像記録機能  
→ P.71 の「ドライブレコーダー機能（映像記録機能）について」
  - 急操作警告機能  
→ P.83 の「急操作警告機能について」
- 運転終了時の機能
  - 運転終了時安全運転診断機能  
→ P.82 の「運転終了時」

## システム設定の確認・変更

- ドライブレコーダー設定変更  
→ P.85 の「ドライブレコーダー」
- システム設定変更  
→ P.87 の「システム設定」


# 端末の使い方（サービスの開始と終了）

端末を利用するには、→P.24の「端末を取り付ける」に従って取り付け、初期動作確認を行った後、お車のエンジンをかけてください。


## サービスの開始から終了まで

**1** シガープラグをお車のシガーソケットまたはアクセサリソケットに接続します→P.31の「ケーブル、バッテリーユニットの取り付け方」

**2** お車のエンジンをかけます  
お車のエンジンと連動して、端末の電源がオンになります。  
お車のエンジンをかけるときは、端末のボタンに触れないようにしてください。

**3** オープニング画面が表示されます  
 **メモ**  
● 端末の状態によって表示されない場合があります。  
（例：スリープ状態からの復帰など）



**4** 自動的に端末の認証が行われます  
認証に失敗した場合は、メッセージの内容に従ってください。  
 **メモ**  
● 当日に認証済みの場合はこの項目はスキップされます。



## 5 自動的に端末の状態を確認します

端末の異常時には再起動することがあります。メッセージが表示された場合は、メッセージ内容に従ってください。

## 6 録画開始のアナウンスがされたらサービスの開始です

「録画を開始しました」の音声案内が流れます。

### メモ

- この通常画面はディスプレイの表示時間の設定により変わります。

指定時間後 OFF :

10 秒後 / 1 分後 / 3 分  
後に表示を OFF する



## 7 運転が終了したら、お車のエンジンを切ります

運転終了時の安全運転診断メッセージ (→ P.82) が表示され、スリープ状態になります。

お車のエンジンをかけると、スリープ状態を解除しバッテリーユニットの電源を再びオンにできます。

### メモ

- スリープ状態とは、ACC 電源の供給が絶たれた際、内蔵バッテリーの消耗を抑えるために一部の機能がご利用できない状態のことです。

## ⚠ 注意

- お車のエンジンを切っても、車両からの給電が止まらずに端末がスリープ状態にならない車種（常時電源車など）の場合、端末を利用しないときは必ずシガーソケットまたはアクセサリソケットからシガープラグを抜くか、シガープラグからケーブルを抜いてください。抜き忘れるとお車のバッテリー上がりの原因や、端末の故障の原因となり、正しくサービスが受けられないことがあります。  
※お車によってはエンジンを切ってから給電が止まるまでに時間がかかる場合があります。
- 通信圏外で端末の電源をオンにした場合は、「通信圏外のため、通信圏内に移動後、自動でリトライを行います。」のメッセージが表示されることがあります。通信圏内に入るまでこのメッセージが表示され、サービスはご利用できません。
- 車内や端末周辺の温度が高い場合、以下の保護機能が動作します。
  - － 端末の電源をオンにできない。
  - － 端末を利用しているときに、電源が自動でオフになる。その場合は、温度が十分に下がってからバッテリーユニットの【電源】ボタンを押し、電源をオンにしてください。  
お車のエンジンが掛かり続けている状態では、バッテリーユニットの【電源】ボタンを押さないとバッテリーユニットが起動されませんのでご注意ください。  
温度が十分に下がった状態で、お車のエンジンを掛け直すとバッテリーユニットは通常起動します。
- バッテリー残量低下により自動で電源オフになることがあります。
- お車のエンジンをかけて走行する前に、以下のことをご確認ください。
  - － 録画開始を示す端末のインジケータが点灯していること。
  - － 「録画を開始しました」の音声案内が流れていること。

## 📝 メモ

- 端末は、事故により車両からの給電が失われる状況が発生した場合でも内蔵バッテリーの残量がある限りは事故連絡が行えます。
- 内蔵バッテリーは残量が空の状態からフル充電までにかかる時間は最短で約2時間\*です。端末の状態や端末周辺の環境により、充電に時間がかかったり充電されなかったりする場合があります。なお、フル充電状態の内蔵バッテリーのみでの端末動作可能時間は、スリープモードで最大約5日間\*です。

\*新品状態で、端末周辺の温度が25℃の場合

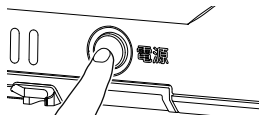
- 端末をはじめてご使用になる場合は、起動後に初期動作確認が表示されます。画面に表示される指示および本書の説明をご覧ください。→ P.24 の「端末を取り付ける」
- お車のエンジンをかけた状態でシガーソケットまたはアクセサリースOCKETからシガープラグを抜くか、シガープラグからケーブルを抜き差ししても、端末はスリープ状態 / 電源がオンになります。
- 端末が起動した際にメッセージや設定を行う画面が表示された場合は、画面の表示に従って操作してください。

## 端末の電源をオフにする

端末を長期間使わない場合や、microSD カードを交換する場合は、端末の電源をオフにしてください。

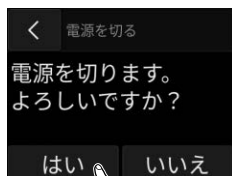
### 1 お車のエンジンを切ります

### 2 バッテリーユニットの【電源】ボタンを2秒以上長押しします



### 3 【はい】をタッチします

バッテリーユニットの画面表示が消えて、【電源】ボタンを押しても画面が非表示のままならば、電源オフ完了です。



#### メモ

- 上記操作で電源オフにしてから再度電源をオンにする場合、スリープ状態から電源をオンした場合に比べて、端末が起動するまで時間がかかります。
- 端末動作の安定性を確保するため、お車のエンジンを切った後に端末が自動的に電源オフになることがあります。

# 衝撃検知と事故連絡の関係について

端末の映像記録機能・事故連絡機能は以下の表のように、端末の衝撃検知と連動して動作します。詳しくは各機能をご確認ください。

録画の種類	検知方法	検知後の動作	映像送信方法	衝撃が発生する場面の例	
イベント録画 (→P.71)	大衝撃	自動で事故連絡します (→P.64)	事故検知時に自動的に映像を送信します	エアバッグが作動する程度の事故をしたとき*1	
	中小衝撃連続			時速 20 km 以上で走行中、急ブレーキを踏み、直後に他車と衝突したとき*1	
	中衝撃	手動で事故連絡します(事故の発生有無を確認するアナウンスをします) (→P.64)		事故の発生有無を確認する画面で、 <b>[SOS] ボタン</b> をタッチすると、映像を送信します	時速 20 km 以上で走行中に他車と衝突したとき*1
	小衝撃			時速 20 km 以上で走行中に急ブレーキをしたとき*1	
	急操作	画面警告表示と警告音が鳴ります (→P.83) *2	端末の転送機能、もしくは PC アプリを利用し、イベント録画から映像を選択し、送信します (→P.100)	急アクセル・急ブレーキ・急ハンドルをしたとき(シートベルトの食い込みを感じたり、シートへの押し込みを感じたりする程度)*1	
常時録画 (→P.71)	衝撃なし	なし	端末の転送機能、もしくは PC アプリを利用し、常時録画から映像を選択し、送信します (→P.100)	体感できるような衝撃はありません	
強制発報 (SOS 発信機能) (→P.66)	<b>[SOS] ボタン</b> を 3 秒以上長押し または 3 秒以内に <b>[SOS] ボタン</b> を 4 回連続で押す	自動で事故連絡します (→P.64)	自動的に映像を送信します	無し	

- \* 1 : 上記は一例です。実際の検知時の状況とは異なる場合があります。  
 \* 2 : 急操作警告音 (→ P.88) を OFF にしている場合、音声通知をオフにできます。

## 常時録画とロックの関係性

常時録画ファイルを上書き、または端末メニューからの削除操作によって削除されないように[ロック]することができます。

常時録画ファイルに対してロックできるのは以下の条件の場合です。

常時録画	ロック属性
強制発報により事故連絡を行った場合	ロック (最大 30 分間の映像)
端末メニューからロック操作を行った場合	ロック

- \* 強制発報により事故連絡時 : 最大 1 件録画ファイルをロック可能
- \* 端末メニューからロック操作 : 最大 30 件録画ファイルをロック可能
- \* 前方カメラ映像と車内カメラ映像のセットで 1 件とカウントします

強制発報を行うと、【SOS】ボタンを押した時点から、最大 前 30 分間の映像がロックされます。

## 衝撃ごとのイベント録画とロックの関係性

イベント録画ファイルを上書き、または端末メニューからの削除操作によって削除されないように[ロック]することができます。

イベント録画ファイルに対してロックできるのは以下の条件の場合です。

イベント録画の種類	事故連絡なし	事故連絡あり
大衝撃	—	ロック
中小衝撃連続	—	ロック
中衝撃	時限ロック	ロック
小衝撃	時限ロック	ロック
急操作	時限ロック	—
強制発報により事故連絡を行った場合	—	ロック
端末メニューからロック操作を行った場合	—	ロック
小急操作	録画なし	

- \* 各イベント録画時 : 時限ロック、ロック合わせて最大 300 件録画ファイルをロック可能
- \* 前方カメラ映像と車内カメラ映像のセットで 1 件とカウントします

時限ロックの映像は約 72 時間を経過するとロックは解除され、古い映像から上書きされます。

強制発報を行った場合は、【SOS】ボタンを押した時点から、前 10 秒、後 5 秒のイベント録画ファイルが作成されます。

# 事故連絡機能

## 事故連絡機能について

端末が一定の衝撃を検知した場合、衝撃の大きさに応じて自動または手動で事故連絡が行われます。また、事故前後の映像が自動的に送信され、東京海上日動火災保険株式会社（以下東京海上日動）と映像が共有されます。

### メモ

- 通話音質は、事故連絡機能ご利用時の通信環境などにより異なります。
- 通話中はドライブレコーダー機能（→P.71）が停止します。（SOS発信機能を除く）
- 手動で事故連絡する場合、事故受付センターが混み合っているときは、事故連絡ができないことがあります。

## 事故連絡機能に関するご注意

- 本サービスは、車両の状況や事故の状況、天候、通信環境等により、その機能が発揮できない場合があります。
- 端末は事故時の衝撃を検知して事故連絡を行っておりますが、確実な事故検知、事故連絡を保証するものではありません。
- 事故を検知しなかった場合および強制発報（SOS発信機能）が作動しなかった場合は、事故受付センターの連絡先を確認（→P.67）し、お客様の携帯電話または公衆電話等で事故連絡を行ってください。
- microSD カードが未挿入の場合でも、事故連絡機能と最大3件までのイベント録画は動作しますが、4件目以降の映像の録画はされません。内部メモリーに保存されたイベント録画は、microSD カードを挿入することで取り出せます。
- 事故連絡機能は以下の場合、動作しません。
  - － 通信圏外の場合
  - － 正しく取り付けられていない場合
  - － 初期動作確認が完了していない場合
  - － 保険始期日前の場合
  - － アップデート中の場合
  - － 端末の故障、損傷がある場合
  - － 使用温度範囲（-10℃～+60℃）外の場合

## 自動で事故連絡をする

端末が強い衝撃を検知した場合、自動的に事故受付センター（プレミアム・エイド）\*へ連絡され、端末を通じて通話が可能です。



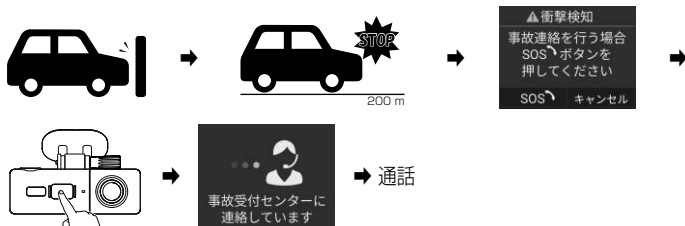
\* 都道府県公安委員会より警備業法 4 条（同法 2 条 1 項 4 号）の警備業法の認定を受けた企業

### メモ

- 連絡が開始されると、【SOS】ボタンの LED が点灯します。
- 事故受付センターへの連絡を中止する場合は【キャンセル】ボタンを押してください。
- 事故受付センターとの通話中に通信圏外となった場合は、通話終了となります。
- 通信圏外で衝撃を検知した場合は、繰り返し通信を試み、通信が可能になった時点で通話が可能になります。
- 通信圏外または何らかの理由により、事故受付センターへ連絡できない場合は、事故受付センターの連絡先が表示されます。お客様の携帯電話または公衆電話等で事故連絡を行ってください。

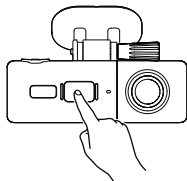
## 手動で事故連絡をする

自動で事故連絡を行う衝撃に満たない一定の衝撃を検知した場合（中衝撃、小衝撃）、検知してから約 200 m 以内で徐行や停車をすると、事故かどうかを確認する画面が表示され、音声メッセージが流れます。カメラユニットの【SOS】ボタンを押すことで、事故受付センターと端末を通じて通話が可能です。



1 自動で事故連絡を行う衝撃に満たない一定の衝撃を検知した場合、事故連絡を行うかどうかの音声流れます。

事故の場合は、カメラユニットの【SOS】ボタンを押します。



### メモ

- 事故ではない場合は【キャンセル】ボタンを押すと、元の画面に戻ります\*。
- 中衝撃を検知時(→P.61)、事故かどうかを確認する音声流れた後、約120秒間何も操作が行われなかった場合は、お客様の安全を優先して、自動的に事故受付センターへ連絡されます。
- 小衝撃を検知時(→P.61)、事故かどうかを確認する音声流れた後、約120秒間何も操作が行われなかった場合は、事故の可能性はないと判断して元の画面に戻ります。
- 中衝撃/小衝撃検知後、事故かどうかを確認する音声流れた後、約500m以上走行した場合は、事故の可能性はないと判断して元の画面に戻ります\*。
- 衝撃検知後も運転を続けた場合、事故の可能性はないと判断して事故かどうかを確認する画面は表示されません。

\* 端末の動作状況によっては上記のとおりにならない場合もあります。

2 1で【SOS】ボタンを押した場合、事故受付センターへ連絡します

通話が始まるまでお待ちください。

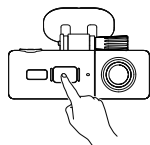


## メモ

- 【SOS】 ボタンを押した後に、事故受付センターへの連絡を中止する場合は【キャンセル】 ボタンを押してください。ボタンが押されないかぎり、中止せず待機しつづけます。
- 事故受付センターとの通話中に通信圏外となった場合は、通話終了となります。
- 通信圏外で衝撃を検知した場合は、繰り返し通信を試み、通信が可能になった時点で通話が可能になります。
- 通信圏外または何らかの理由により、事故受付センターへ連絡できない場合は、事故受付センターの連絡先が表示されます。お客様の携帯電話または公衆電話等で事故連絡を行ってください。
- 事故受付センター側から通話が切断された場合、またはユーザーが通話を切断した場合、通話終了後に常時録画映像一覧画面が表示されます。必要に応じて東京海上日動の事故受付センターへ転送してください。(→P.80)

## 事故受付センターへ緊急連絡をする (SOS 発信機能)

【SOS】 ボタンを 3 秒以上長押し、または 3 秒以内に 4 回連続で押した場合、事故受付センターに緊急連絡することができます。



→ 通話

## メモ

- 誤って SOS 発信機能を使用した場合は、【キャンセル】 ボタンを押してキャンセルしてください。
- 走行中・停止中に関わらず、事故受付センターに連絡することができますが、必ず安全な場所に停車してから操作してください。
- SOS 発信機能による通話中は、音声なしの常時録画を行います。
- 事故受付センターとの通話中に通信圏外に移動した場合は、通話終了となります。
- 通信圏外または何らかの理由により、事故受付センターへ連絡できない場合は、事故受付センターの連絡先が表示されます。お客様の携帯電話

話または公衆電話等で事故連絡を行ってください

- 事故受付センター側から通話が切断された場合、またはユーザーが通話を切断した場合、通話終了後に常時録画映像一覧画面が表示されます。必要に応じて東京海上日動の事故受付センターへ転送してください。(→P.80)

### 事故受付センターからの着信について

通信圏内から通信圏外に移動した場合など、何らかの理由により通話が中断されると、事故受付センターから折り返しご連絡差し上げる場合があります。その際、自動的に着信し、操作は不要です。

#### メモ

- 事故受付センターとの通話を中止する場合は【キャンセル】ボタンを押してください。
- 事故受付センターとの通話中に通信圏外となった場合は、通話終了となります。
- 通信圏外または何らかの理由により、事故受付センターへ連絡できない場合は、事故受付センターの連絡先が表示されます。お客様の携帯電話または公衆電話等で事故連絡を行ってください。

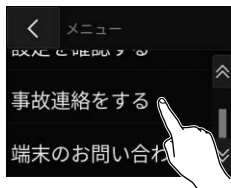
### 事故を検知できなかった場合

お客様の携帯電話や公衆電話、または SOS 発信機能を使用して、直接ご連絡ください。SOS 発信機能を使用すると、直前の常時録画の映像(約 30 分間)を自動でロックします(→P.62)。その後、バッテリーユニットの転送機能(→P.80)、もしくは PC アプリを利用して、送信してください。(→P.100)

### 事故受付センターの連絡先を確認する

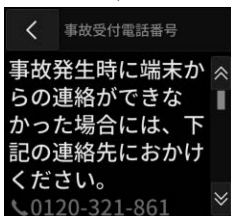
事故発生時、何らかの理由によりバッテリーユニットからの自動、手動または SOS 発信機能による連絡ができなかった場合は、バッテリーユニットを以下の手順で操作し事故受付センターの情報を表示して、お客様の携帯電話または公衆電話などで事故連絡を行ってください。

1 **【☰】** → **【事故連絡をする】**  
をタッチします



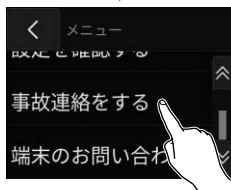
2 **【事故受付電話番号】** をタッ  
チして事故受付センターの連  
絡先を確認します

端末から事故受付センターへ連  
絡をする機能ではありません。



## 事故映像を確認する

- 1 【☰】 → 【事故連絡をする】  
をタッチします

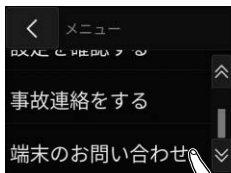
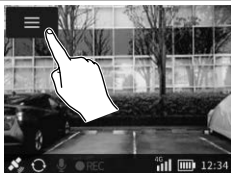


- 2 【事故映像選択】をタッチし  
ます

常時録画かイベント録画を選択  
してください。映像の一覧が表示  
されます。



- 1 【☰】 → 【端末のお問い合わせ】をタッチします



- 2 ドライブエージェントパーソナル事務局の連絡先を確認します

端末からドライブエージェントパーソナル事務局へ連絡をする機能ではありません。



# ドライブレコーダー機能（映像記録機能）

## ドライブレコーダー機能（映像記録機能）について

カメラユニットで撮影した録画映像は、microSD カードに保存されます。また、保存した録画映像は端末やパソコンで再生できます。

録画するカメラは前方カメラのみと前方カメラ + 車内カメラの選択ができます。（→ P.86）デフォルト設定は前方カメラと車内カメラです。

録画映像は次の 2 通りあります。

### ● イベント録画

お車が衝突した際の衝撃や急アクセル、急ブレーキ、急ハンドルといった急操作を検知した時点の 10 秒前から 5 秒後までの状況を自動で録画します。

### ● 常時録画

お車のエンジンをかけてからエンジンを切るまで（端末の電源オンからスリープ状態（→ P.57）まで）の間の状況を常に録画します。録画時間は 1 分間隔になります。

### ✎ メモ

- microSD カードに保存できるイベント録画の映像は最大 300 件です。保存された録画映像が容量を超えると、古い録画映像から順に上書きします。上書きしたくない録画映像をロックして保護することができます。→ P.78 の「録画映像を手動でロック/ロック解除する」
- 常時録画された映像が microSD カードへの保存可能領域の上限に達すると、古い録画映像から順に上書きします。
- イベント録画、常時録画共に、任意で選んだファイルを削除することもできます。
- 前方カメラ、または車内カメラに異常がある場合は、録画映像は黒画像になります。

## ドライブレコーダー機能に関するご注意

- 走行中は安全性の観点から、バッテリーユニットにて表示がされない画面や操作ができない画面があります。
- 音声録音を止めることはできません。
- 次の場合は、常時録画は中断されます。
  - － SD カードカバーが開いているとき
  - － microSD カードを抜いているとき
  - － microSD 初期化中
  - － 設定初期化中

- － 露出補正中
- － スリープ状態（ACC OFF）
- － 端末で事故受付センターとの通話中（SOS 発信機能使用中、手動保守点検中は除く）

以上の操作が終了・状態が解消されると、常時録画は再開されます。

- microSD カードは消耗品です。microSD カードの異常を知らせるメッセージの表示が繰り返される場合には、ドライブエージェントパーソナル事務局（新型・事故自動通報ドラレコ）にご連絡ください。
- microSD カードの消耗に起因する故障または損傷については、製造元は一切の責任を負いません。
- 端末で録画した映像を取り扱う際は、被写体のプライバシーなどを侵害しないよう十分にご配慮ください。また、お客様の責任でお取り扱いください。
- 端末はすべての状況において映像の記録を保証するものではありません。
- 端末が記録した映像やデータは、事故の証拠として効力を保証するものではありません。
- LED 式信号機を撮影すると、信号機が点滅しているように撮影されたり、ちらついたりする場合があります。
- 道路の段差を越えるときに生じる振動を、衝撃として検知し、イベント録画を行う場合があります。
- 重大事故による端末損傷など、お車だけでなく内蔵バッテリーからの電源も断たれた場合、録画できません。また、microSD カード内に記録されているデータが破損してしまう可能性があります。
- 提供元および製造元では、破損したデータや消去したデータの復元サービスは行っておりません。
- 端末の故障や端末使用によって生じた損害、および記録された映像やデータの損傷、破損による損害については、提供元および製造元は一切その責任を負いません。
- ドライブレコーダー機能で録画された映像は、安全のため運転中は再生できません。
- 端末などの破損、故障が生じた場合や、盗難・紛失に遭われた際は、速やかにドライブエージェントパーソナル事務局（新型・事故自動通報ドラレコ）へご連絡ください。また、事由発生の原因が利用者の故意・重過失である場合、機器代金相当額のご請求をさせていただく場合があります。

\* ドライブエージェントパーソナル事務局（新型・事故自動通報ドラレコ）の連絡先は裏表紙をご確認ください。

## 録画された映像の取り扱いについて

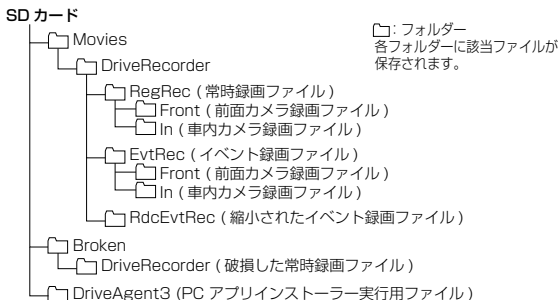
- ドライブレコーダー機能で録画された映像は「MP4」形式（拡張子が「.mp4」）の映像ファイルとして microSD カードに保存されます。
- microSD カードと常時録画における最大録画時間の参考値は次のとおりです。

microSD カード容量 (GB)	2 カメラ設定時 (車内カメラ オン) (初期設定)	1 カメラ設定時 (車内カメラ オフ)
64 GB	約 7.5 時間	約 15 時間

上記値は目安で、絶対保証値ではありません。

周囲の景色や明るさ、ロックファイル数、運転の状態によって異なります。

- 映像ファイルはお手持ちのパソコンでも再生できます。
- microSD カード内の映像ファイルの保存先は次のとおりです。



### ファイル名規則

REG\_YYYY-MM-DD\_HH-MM-SS\_XXXXXXXX-XXXX-XXXX-XXXX-XXXXXXXXXXXX\_f.mp4

①

②

③

④

⑤

- ①— REG: 常時録画ファイル  
EVT: イベント録画ファイル  
RDCEVT: 縮小されたイベント録画ファイル
- ②— 撮影された年月日、時分秒
- ③— UUID
- ④— f: 前面カメラの録画ファイル  
i: 車内カメラの録画ファイル
- ⑤— 拡張子

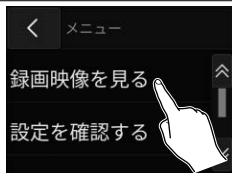
- 映像の処理中のファイル（拡張子が「.tmp」）が microSD カードの中に残ることがありますが、削除しないでください。

## 録画した映像を端末で再生する

1 **【☰】** をタッチします



2 **【録画映像を見る】** をタッチします



3 **【常時録画】**、または**【イベント録画】** を選んでタッチします  
録画された映像の一覧が表示されます。





## 4 再生したい映像を選んでタッチします

選んだ映像が再生されます。








### メモ

- 常時録画ファイルは、録画開始から録画終了までまとめて再生ができ、イベント録画ファイルはイベントごとに再生ができます。
- 手でロックされている映像のサムネイルには  が表示されます。
- 時限ロック機能\*により一時的にロックされている映像のサムネイルには  が表示されます。  
\*時限ロック機能とは、撮影した録画映像を自動的にロックし、上書きされないように約 72 時間保持する機能です。急操作を検知した場合、または衝撃（中衝撃、小衝撃）による事故連絡を中止した場合に時限ロックされます。
- 72 時間を経過するとロックが解除されます。

例：イベント録画映像の再生中



- ①  をタッチすると再生を一時停止します。
- ② 、または  をタッチすると早送り／早戻し再生します。
- ③ 、または  をタッチするごとに早送り／早戻しの速度が変わります。

例：イベント録画映像の一時停止中



- ① **【▶】** をタッチすると再生を再開します。
- ② **【📷】** をタッチすると前方カメラ／車内カメラの映像が切り替わります。
- ③ **【ロック】**、または **【ロック解除】** をタッチすると録画映像のロック／ロック解除ができます。
- ④ **【転送】** ボタンをタッチすると録画映像を転送できます。
- ⑤ **【削除】** ボタンをタッチすると録画映像を削除できます。

**5** **【<】** をタッチすると再生を終了し、前の画面に戻ります



## 録画した映像を削除する

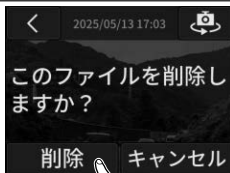
- 1 録画した映像の一時停止中画面で【削除】をタッチします



### メモ

ロックされた録画映像の場合、ロックを解除するまで【削除】は表示されません。

- 2 【削除】をタッチします  
削除を中止するときは【キャンセル】をタッチしてください。



### メモ

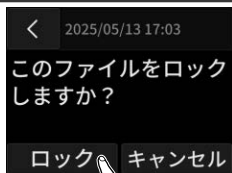
- 複数ファイルをまとめて削除することはできません。

- 1 録画された映像の一時停止中画面で【ロック】、または【ロック解除】をタッチします



- 2 【ロック】、または【ロック解除】をタッチします

ロック / ロック解除を中止するときは【キャンセル】をタッチしてください。



### メモ

- 複数ファイルをまとめてロック / ロック解除することはできません。
- 日付けが古い映像のロックを解除した場合、またはイベント録画が保存の上限件数に達している場合は削除される可能性があります。

## イベント録画から映像を転送する

### 1 イベント録画から転送したい映像を選んでタッチします



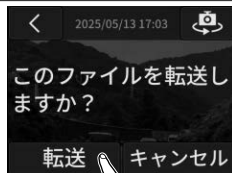
#### メモ

- 映像転送は事故映像を送るためのものです。
- 映像は東京海上日動の事故受付センターへ転送されます。
  - \* 1回の映像転送で、前方カメラと車内カメラの映像が転送されます
- 映像転送は1日最大5回（常時録画，イベント録画合わせて）まで可能です。（翌日0時以降、映像転送の回数は再び5回付与されます）
- 映像転送の後に、事故受付センターへ連絡してください。  
→ P.67の「事故受付センターの連絡先を確認する」

### 2 録画された映像の一時停止中で【転送】をタッチします



### 3 【転送】をタッチします



#### メモ

- 転送が失敗したときは、もう一度お試しください。

## 常時録画から映像を転送する

### 1 常時録画から転送したい映像を選んでタッチします



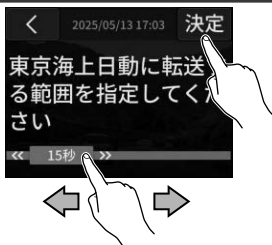
#### メモ

- 映像転送は事故映像を送るためのものです。
- 映像は東京海上日動の事故受付センターへ転送されます。
  - \* 1回の映像転送で、前方カメラと車内カメラの映像が転送されます
- 映像転送は1日最大5回（常時録画、イベント録画合わせて）まで可能です。（翌日0時以降、映像転送の回数は再び5回付与されます）
- 映像転送の後に、事故受付センターへ連絡してください。  
→ P.67の「事故受付センターの連絡先を確認する」

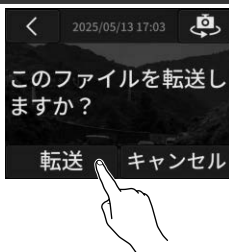
- 2 スクロールバーで転送したい映像部分まで送って【転送】ボタンを押すと、再生時刻の前後 1 分の合計 2 分間が指定されます



- 3 スクロールバーで転送する 15 秒間を 2 分間の映像ファイルから指定して、【決定】をタッチします



- 4 【転送】をタッチします



 **メモ**

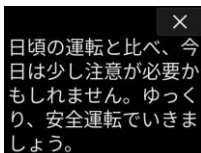
- 転送が失敗したときは、もう一度お試しください。

# 安全運転診断機能

## 要注意運転アラート

走行開始時から一定区間の走行傾向を検知し、普段と違う運転挙動の場合は音声メッセージと画面表示を行います。

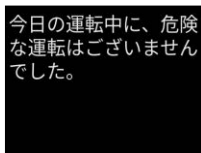
<走行時メッセージ例>



## 運転終了時

お車のエンジンを切ったときに運転結果を診断した音声メッセージと画面表示を行います。

<走行後メッセージ例>



## メモ

- 初期設定は【走行終了メッセージ】が OFF になっていて、メッセージは表示がされません。表示させたい場合は、ON に設定してください (→ P.90)

# 急操作警告機能

## 急操作警告機能について

端末が急操作を検知した際、警告音と画面表示等で注意喚起します。  
(→P.61)



## メモ

- 画面表示は、約 4 秒後に元の画面に戻ります。
- 急操作を検知した時点の映像はイベント録画として録画されます。  
急操作を検知した場合、または衝撃（中衝撃、小衝撃）による事故連絡を中止した場合は、時限ロックとして保存されます。(→P.62)
- 急操作と判断されるのは、急アクセル、急ブレーキ、急ハンドルです。
- 急操作の基準に満たない一定の振動（小急操作）を検知した場合は、画面表示や音声メッセージと警告音等による注意喚起は行わず、安全運転診断のため、衝撃の回数のみ記録します。  
また、走行終了メッセージに反映される場合があります。
- 小急操作の場合、イベント録画は行いません。

# システム設定の確認・変更

端末に関する以下の確認や変更を行うことができます。

- ドライブレコーダー
- システム設定
- 情報
- 点検・チュートリアル

## メモ

- 設定の内容はサーバーから遠隔で自動的に変更することがあります。
- 端末が高温になった場合、一部設定が制限・変更になる機能があります。
- 各種設定の項目を表示する場合は、画面を下にスクロールしてください。

## システム設定を行う画面を表示する

- 1 **【☰】 → 【設定を確認する】  
をタッチします**



## 2 変更・確認したい項目を選択します



## 3 画面の案内に従って操作し、【<】をタッチして設定を完了します

### ドライブレコーダー

#### カメラの露出を補正する

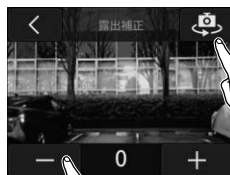
## 1 【露出補正】をタッチします



## 2 【📷】で補正したいカメラを選択します

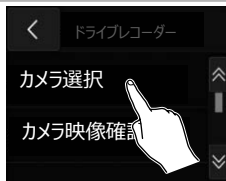
- 前方カメラ
- 車内カメラ

【+】 / 【-】で補正します  
- 1.0 ~ + 1.0 の範囲で補正できます。



## 使用したいカメラを設定する

### 1 【カメラ選択】をタッチします



### 2 使用したいカメラを選択します

- 前方カメラのみ
- 前方カメラと車内カメラ




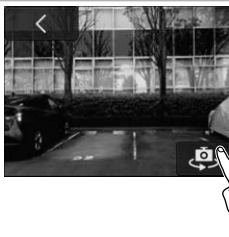
## カメラの映像を確認する

### 1 【カメラ映像確認】をタッチします



### 2 カメラの映像を確認します

【】で前方と車内のカメラを切り替えます



### 音声メッセージと警告音などの音量を設定する

- 1 【システム音量】をタッチします



- 2 【+】 / 【-】で調整します  
OFF または 1 ~ 5 の範囲で設定  
できます。



#### メモ

- 事故発生時の音声メッセージと警告音などおよび事故受付センターへの事故連絡時の音量は、本設定値に関わらず、一時的に既定の音量になります。

## 急操作警告音を ON・OFF する

- 1 【急操作警告音】をタッチします

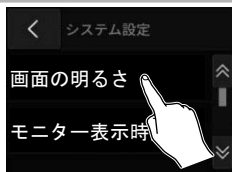


- 2 【ON】・【OFF】を選択します  
OFF または ON で設定できます。

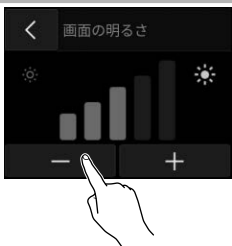


## ディスプレイの明るさを設定する

- 1 【画面の明るさ】をタッチします

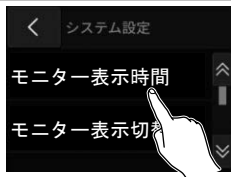


- 2 【+】 / 【-】で調整します  
1～5の範囲で設定できます。



## ディスプレイの表示時間を設定する

### 1 【モニター表示時間】をタッチします



### 2 表示時間を選択します



10秒後OFF	端末の操作が約 10 秒間行われなかった場合に画面表示を消します。
1分後OFF (初期設定)	端末の操作が約 1 分間行われなかった場合に画面表示を消します。
3分後OFF	端末の操作が約 3 分間行われなかった場合に画面表示を消します。

## バッテリーユニットの画面に表示するカメラ映像の切り替え

- 1 【モニター表示切替】をタッチします



- 2 【OFF】・【前方カメラ】・【車内カメラ】を選択します

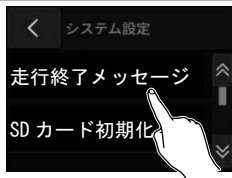


### メモ

- 【カメラ選択】(→P.86) の設定で『前方のみ』の設定をしている場合は、【モニター表示切替】で車内カメラは選択できません。

## 走行終了時の運転診断メッセージを ON・OFF する

- 1 【走行終了メッセージ】をタッチします



- 2 【ON】・【OFF】を選択します  
初期値は【OFF】に設定されています。



### ⚠ 注意

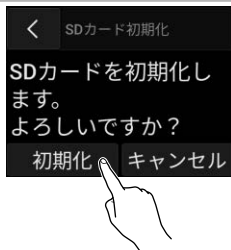
- microSD カードの初期化を行うと、すべての映像が消去されます。

## 1 【SD カード初期化】をタッチします



## 2 【初期化】を選択します

microSD カードの初期化を中止するときは、【キャンセル】を選ぶか【<】をタッチしてください。



- microSD カードの初期化が失敗したときはメッセージが流れます。  
→ P.121 の「システム設定のメニューを操作しているとき」
- microSD カードの初期化完了後にメッセージが表示されます。  
【×】をタッチするか、メッセージ再生 2 秒後に画面が戻ります。
- microSD カードの初期化が完了するまで端末には触れず、エンジン进行を切らずにお待ちください。
- 端末の復旧操作に関するお問合せを受けた時に、サーバーから遠隔で端末の microSD カードを初期化することがあります。

## 端末の設定を初期化する

端末を発送時の状態に戻りたいときは、設定を初期化します。

### メモ

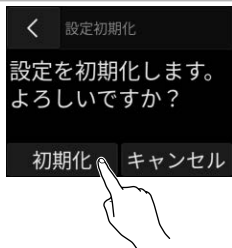
- 以下の項目は初期化されません。
  - アップデートしたデータ
  - 録画ファイルを含む、microSD カードの内容

## 1 【設定初期化】をタッチします



## 2 【初期化】を選択します

設定の初期化を中止するときは、【キャンセル】を選ぶか【<】をタッチしてください。



- 設定の初期化が失敗したときはメッセージが流れます。  
→ P.121 の「システム設定のメニューを操作しているとき」
- 設定の初期化完了後にメッセージが表示されます。  
【×】をタッチするか、メッセージ再生 2 秒後に端末が再起動します。
- 再起動後、オープニング画面に戻ります。画面表示に従い、チュートリアル設定を行ってください。→ P.39 の「チュートリアル」
- 端末の設定に関するお問合せを受けた時に、サーバーから遠隔で端末の設定を変更することがあります。

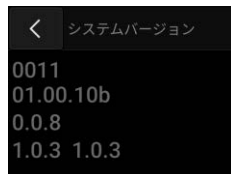
## 車両登録情報を確認する

- 1 **【車両登録情報】をタッチします**  
車両登録情報と車種が表示されます。



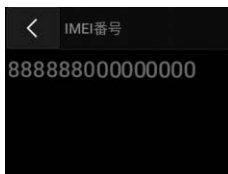
## 端末のシステムバージョンを確認する

- 1 **【システムバージョン】をタッチします**  
システムバージョンが表示されます。



## 端末の識別番号（IMEI 番号）を確認する

- 1 **【IMEI 番号】をタッチします**  
端末の識別記号（IMEI 番号）が表示されます。



## 法的情報を確認する

端末で使用されているオープンソースソフトウェアのライセンスおよび端末の認証情報を確認できます。

- 1 **【法的情報】をタッチします**

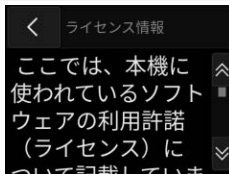


- 2 **【ライセンス情報】・【認証情報】を選択します**



### 3 ライセンス情報を表示します

認証情報を表示します



## 点検・チュートリアル

### 手動保守点検

#### 1 【手動保守点検】をタッチします

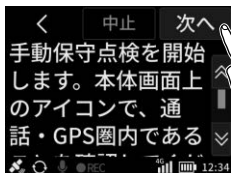


#### 2 手動保守点検の開始を案内します

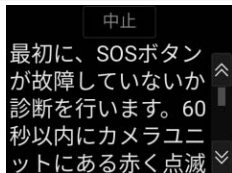
通信・GPSの圏内で実施してください。

説明が終わったら【次へ】を選択してください。

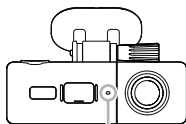
【中止】にタッチすると、点検を中止します。



**3** 画面の案内に従って60秒以内にカメラユニットの【SOS】ボタンを押します



**4** 音声メッセージに従って、マイクに向かってお客様の名前を発話してください



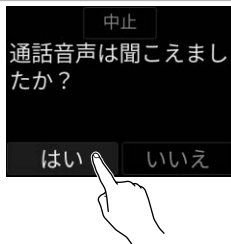
マイク

**メモ**

- お客様の声を録音し再生することで、端末のマイクとスピーカーが正常であることを確認できるようにしています。
- お客様の所在地でGPSが正常であることを確認できるようにしています。

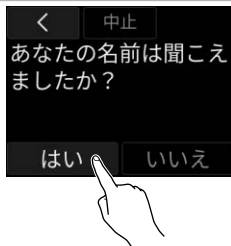
## 5 音声が届いたか確認してください

よろしければ【はい】を選択してください。【いいえ】を選択した場合には、手順 8 へスキップされます。



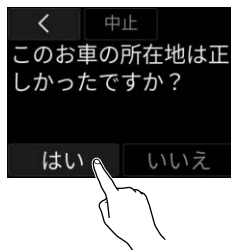
## 6 名前が聞こえたか確認してください

よろしければ【はい】を選択してください。【いいえ】を選択した場合には、手順 8 へスキップされます。



## 7 所在地が正しいか確認してください

よろしければ【はい】を選択してください。【いいえ】を選択した場合には、手順 8 へスキップされます。

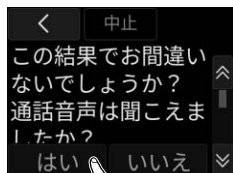


### メモ

- 受信する電波の状況によりずれが発生することがあります。そのため、県や市の境にいる場合、結果が少しずれることがありますが、端末の故障ではありません。

## 8 選択した内容に間違いがないか確認してください

よろしければ【はい】を選択してください。手順5～7すべて【はい】の場合は以上で手動保守点検は終了です。ひとつでも【いいえ】を選択している場合は、再度、手動保守点検を実行していただきまして、それでも解決しない場合は、ドライブレコーダーエージェントパーソナル事務局（新型・事故自動通報ドラレコ）にご連絡ください。



## チュートリアル

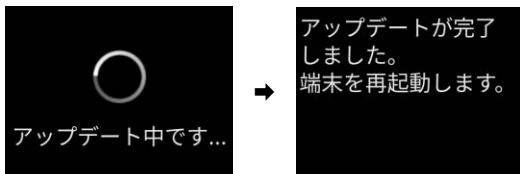
### 1 【チュートリアル】をタッチします

チュートリアルを開始します。  
→ P.39 の「チュートリアル」



# 端末をアップデートする

端末起動時、自動的に通信を利用したアップデートデータの確認が行われます。アップデートデータがある場合は、自動的にダウンロードが行われ、十分にバッテリー残量がある場合は、ACC OFF 時にアップデートを行います。残量がない場合は次回起動時にアップデートを行います。



## メモ

- 通信圏外にいるときは、アップデートデータのダウンロードは行われません。
- アップデートデータのダウンロード状況は、「ホーム画面」下部のステータスバーに表示されるアイコンで確認できます。(→P.21)
- アップデート時に端末が再起動することがあります。アップデート動作が終わるまで操作せずお待ちください。
- ご利用者が多く、通信環境が混み合っているときは、ダウンロードを行わない場合があります。
- アップデートの時間は、アップデートの内容により異なります。アップデート中は、映像記録や事故連絡などの機能をご利用いただけません。可能であれば、お車を安全な場所に駐車し、エンジンを切らずにお待ちください。
- 「アップデートが失敗しました」とメッセージが表示された場合は、ドライブレコーダーパーソナル事務局（新型・事故自動通報ドラレコ）にご連絡ください。

# PC アプリ「ドライブエージェントパーソナル」

端末で録画した映像を、ご自宅のパソコンで確認することができます。  
また、録画した映像を東京海上日動へ送信することもできます。

## PC アプリインストーラーを入手する

PC アプリのインストーラーは、端末に挿入された microSD カードへ自動的にコピーされます。

### メモ

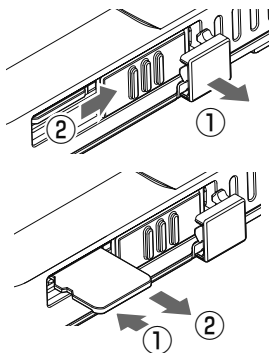
- 端末にはじめて microSD カードを挿入した場合は、端末の電源をオンにし、認証が完了するまでお待ちください。電源オフ状態の端末に microSD カードを挿入しただけでは、PC アプリのインストーラーはコピーされません。(→P.56)

## 端末から microSD カードを取り外し、パソコンに挿入する

- 1 端末の電源をオフにします  
→P.60の「端末の電源をオフにする」

- 2 バッテリーユニット側面の  
ストッパーを外し ①  
SD™ カードカバーを開  
きます ②

“カチッ”と音がする  
まで挿入されている  
microSD カードを押し  
込んで ①、取り出しま  
す ②



### ⚠ 注意

- microSD カードは勢いよく飛び出す場合があるので、中央部をゆっくりと押して離し、まっすぐ取り出してください。
- 取り外した microSD カードは、専用ケースに入れるなどして、保管してください。また、誤ってお子様が飲み込むなどのことがないように、保管場所にもご配慮ください。
- microSD カードの端子部分には触れないでください。接触不良や破損の原因になります。
- microSD カードは接触不良が起こりやすいため、認識されない場合は差し直してください。

- ## 3 端末から microSD カードを取り外し、パソコンに挿入します
- お客様のパソコンに SD カードスロットがあるかどうか確認し、挿入してください。SD カードスロットのないパソコンの場合は、市販の SD カードリーダー等をご準備ください。

### ⚠ 注意

- SD カードスロットに挿し込む際は向きをよく確認し、無理に挿し込まないようにしてください。誤ったスロットに挿し込むと、取り出せなくなることがあります。

### 📝 メモ

- パソコンの SD カードスロットまたは市販の SD カードリーダーの規格に合わせ、必要に応じて付属の SD カードアダプタをお使いください。

## パソコンへ PC アプリをインストールする

パソコンに microSD カードを挿入し、自動再生ダイアログが表示されたら、「フォルダーを開いてファイルを表示」を選択してください。microSD カード内に保存されている PC アプリインストーラー (driveagent3\_install\_manager.exe) を実行し、画面の指示に従ってインストールしてください。

.NET がインストールされていない、もしくは古いバージョンが PC にインストールされている場合は、最新の .NET のインストールが必要です。画面に従ってインストールしてください。

## **⚠ 注意**

- インストールの際、パソコンがインターネットに接続されている必要があります。

## **動作推奨環境**

- OS/CPU : Windows 11 / Intel Core i7 8550U 1.8 GHz 以上
- 画面解像度 : 1024x768 以上
- HDD 空き容量 : 1 GB 以上
- \* インストール時に管理者権限が必要です。
- \* タブレット PC での動作は保証しておりません。
- \* 画面解像度が表記未満の場合は、アプリの表示する画面が収まりません。
- \* インターネット接続が可能であること。
- \* 上記の条件を満たす全てのパソコンで動作を保証するものではありません。
- \* OS のアップグレード環境、マルチブート環境、自作パソコン、タブレットパソコンでの動作は保証しておりません。
- \* Macintosh は非対応です。
- \* Modern UI design 機能は非対応です。
- \* パソコンの環境によっては、microSD カードが認識できなかつたり一部機能をご利用いただけないなどの症状が発生する場合があります。その際の損失ならびにその他の直接または間接的な障害につきましては、提供元および製造元に故意または重過失がない限り、提供元および製造元はその責任を負いません。
- \* パソコン環境に関するお問い合わせは、パソコンの製造元の各メーカー、または購入された販売店にお願いします。

## **PC アプリ「ドライブエージェントパーソナル」を起動する**

はじめて利用する場合は、インストールすれば、自動的に PC アプリ「ドライブエージェントパーソナル」が起動します。既にインストール済みの場合、microSD カードを挿入すると自動的に PC アプリが起動します。

PC アプリの使い方については下記 URL 先をご参照ください。

アプリ起動や映像再生などに関する困りごとは「困ったときは (FAQ)」をご参照ください。

[https://file.tokiomarine-dap.com/pcapp\\_manual/index.html](https://file.tokiomarine-dap.com/pcapp_manual/index.html)

## ⚠ 注意

- 事故映像のみをお送りください。
- 東京海上日動へ映像を送信できる回数は、一日に5回(常時録画、イベント録画合わせて)までとなります。
- 映像送信にはインターネット通信を使用します。そのため通信費用が発生する場合があります。

## イベント録画から送信したい映像を選択する

まず送信したい映像が[イベント録画]に保存されているか確認してください。[イベント録画]に送信したい映像がない場合、[常時録画]から送信したい映像を選択してください。

### 1 画面左上のタブから「イベント録画」を選びます



### 2 事故のおおよその時刻がわかっている場合はイベント発生日時を参考に、事故の瞬間が含まれているであろう映像を選びます

#### ✎ メモ

- フィルタボタンを押すと、衝撃の大きいものだけを抽出することが可能です。撮影された映像の数が多すぎて探しづらいときなどにご利用ください。

### 3 再生ボタンを押し、事故の瞬間が含まれていることを確認します



## 4

映像送信ボタンを押し、映像を東京海上日動へ送信します



### メモ

- 送信済みの映像にはリスト上に↑と“(送信済み)”が表示されます。

## 常時録画から送信したい映像を選択する

## 1

画面左上のタブから常時録画を選びます



## 2

事故のおおよその時刻が含まれる映像を選びます

### メモ

- 一つ一つの映像は一走行分（お車のエンジンをかけてから切るまで）です。ただし、端末の操作などにより常時録画が中断された場合、お車のエンジンをかけたままでも映像が分割されることがあります。

## 3

再生・早送りや早戻しなどを利用し、事故の瞬間にカーソルが来るようにします



## 4 範囲選択ボタンを押します

事故の衝突の瞬間に白いカーソルを合わせます。その状態で範囲選択ボタンを押すと、画面が以下のとおり変化します。

- 白いカーソルが赤に変化する。
- カーソルの前 10 秒、後 5 秒が範囲選択される。



### メモ

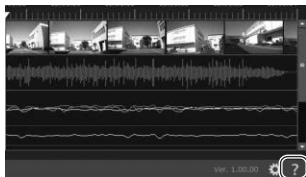
- カーソルの選択範囲内に事故の瞬間が含まれていることを確認してください。
- カーソル位置が映像の先頭から 10 秒未満の場合は映像の先頭から、カーソル位置が映像の終端から 5 秒未満の場合は映像の終端までが範囲選択されます。

## 5 映像送信ボタンを押し、映像を東京海上日動へ送信します



### ヘルプを確認する

画面右下の「？」をクリックすると、より詳細なアプリの使い方が確認できます。



# よくあるお問い合わせ (FAQ)

\* ドライブエージェントパーソナル事務局（新型・事故自動通報ドラレコ）の連絡先は裏表紙をご確認ください。

**Q 両面テープが剥がれてカメラユニットが落下してしまいました。**

A 付替え用キットを送付しますので、ドライブエージェントパーソナル事務局（新型・事故自動通報ドラレコ）にご連絡ください。また、冬場に取り付ける場合には必ずデフロスターなどを使い、ガラス面を温めてから取り付けてください。

**Q ピラーの表面に「SRS」「AIRBAG」の表示がある車はどうすればいいのでしょうか？**

A 取付サポートをご案内しますので、ドライブエージェントパーソナル事務局（新型・事故自動通報ドラレコ）にご連絡ください。

**Q 車を変えても、そのまま使用することはできますか？**

A 付替え用キットを送付しますので、ドライブエージェントパーソナル事務局（新型・事故自動通報ドラレコ）にご連絡ください。キットが届きましたら新しいお車に付け替えてください。（→P.46）

**Q カメラユニットが運転席側にあると運転に影響する場合、助手席側につけてもいいですか？**

A 運転席から手の届く範囲であれば、助手席側に取り付けていただくことも可能です。

**Q 車両が2台のため、端末を二つお願いしましたが、どちらがどちらの端末かわかりますか？**

A 端末ごとに、設置するお車の登録番号が書かれた用紙を箱に同封しております。また、初回設定の初めに端末に設定されている登録番号も表示されます。もし誤ったお車に取り付けられた場合、端末を台座から取り外し、入れ替えてください。（→P.51）

**Q** 端末、シガープラグ、microSD カード等の破損・故障が生じた場合や、盗難・紛失があった場合、どうすればいいですか？

**A** 代替用の端末や付属品を送付しますので、ドライブエージェントパーソナル事務局（新型・事故自動通報ドラレコ）にご連絡ください。端末が届きましたら手順に従って交換してください。（→P.51）

**Q** 端末の機能に影響をおよぼす車はありますか？

**A** フロントガラスに特殊加工（熱線反射ガラスや断熱ガラス、電波不透過ガラスなど）が施されている場合は、GPS の受信や録画品質に影響する可能性があります。

**A** 取り付けるフロントガラスの上部 20%すべてに遮光フィルムが施されている場合は、録画品質に影響する可能性があります。

**Q** 端末が水に濡れてしまいました。

**A** 端末は防水設計ではないため、故障する可能性があります。十分に端末を乾燥させた後、お車のエンジンをかけたときに電源が ON にならないなど機能に異常がある場合は、ドライブエージェントパーソナル事務局（新型・事故自動通報ドラレコ）にご連絡ください。

**Q** 真夏や真冬などでも使えますか？

**A** 端末が高温になった場合、破損を防ぐために一部機能が制限されます。また、高温や低温状態では内蔵バッテリーの充電が増えにくくなります。なるべく走り始める前からエアコンを使用し、車内の温度を調整してください。

**Q** microSD カードをテレビのカードスロットに挿しても映像が見られません。

**A** microSD カードに記録した映像は一部のテレビを除き、パソコンでのみ確認できます。

**Q 端末が起動しません。また、内蔵バッテリーが充電されません。**

A 付属のシガープラグやケーブル以外を使用している場合、十分な給電ができない場合があります。必ず付属のシガープラグやケーブルをご利用ください。

USB 機器の差し込み方が浅いと、端末は起動するにもかかわらず、十分な電力が供給されない状態になることがあります。

使用している USB Type-C ケーブルは端子形状がフラットのため、奥まで差し込んでもしっかりとはまるような感触（クリック感）はありません。強く奥まで押し込んでご利用ください。

**Q microSD カードが付属していません。**

A 出荷時にバッテリーユニットに装着した状態で送付しております。バッテリーユニット側面の microSD カードスロットをご確認ください。

**Q microSD カードを容量の大きいものに変えたいのですが？**

A 市販の microSD カードでの動作は保証できません。付属の microSD カードをご使用ください。

**Q 付属されている SD カードが端末に入らないのですが？**

A microSD カードは端末に装着した状態で送付しています。付属されている microSD カード用のアダプタはパソコンで映像を読み取る際に使用するアダプタとなります。

**Q microSD カードを取り扱いする際に、注意することはありますか？**

A microSD カードは故障しやすい部品であり、動作中は常に映像データを書き込んでいます。そのため、動作中にカードの抜き差しをすると microSD カードが故障したり、データが破損するおそれがあります。microSD カードはエンジンを切り、端末の電源を切ってから取り出してください。また、端末では microSD カードが正常に動作していることを常に確認しています。microSD カードの異常を知らせるメッセージの表示が繰り返される場合にはドライブエージェント パーソナル事務局（新型・事故自動通報ドラレコ）にご連絡ください。

**Q** 端末の通信機能や映像記録機能などが正常に機能しているか確認する方法はありますか？

**A** 画面下部に表示されるステータスバーのアイコンでご確認ください(→P.21) また、手動保守点検機能を使用することで、全機能が正常であることを確認することが可能です。(→P.95)

**Q** 保険始期日前に使用してもいいのでしょうか？

**A** 保険始期日前には事故検知機能／事故連絡機能(→P.63)は動作しませんが、常時録画機能(→P.71)や録画映像の再生(→P.74)は始期日前より使用可能です。

**Q** 市販のドライブレコーダーとの違いは何ですか？

**A** 端末が大きな衝撃を検知した際に、自動で事故受付センターへの連絡や、事故映像を自動的に記録し送信することができます。

※端末の状況によっては上記のとおりにならない場合があります。

**Q** 映像の音声記録を OFF にする方法はありますか？

**A** 音声記録を OFF にする設定はありません。事故連絡で通話中の場合は音声記録されません。

**Q** 音量の調整をしたいのですが、どうすればいいですか？

**A** システム音量設定で音量の設定ができます。(→P.87)

**Q** 安全運転診断機能の ON/OFF 設定切り替えはできますか？

**A** ON/OFF 設定の切り替えは可能です。操作については、各種設定をご覧ください。(→P.90)

**Q** 事故連絡ができない状況はありますか？

**A** 通信 (NTT ドコモの LTE/4G) ができない環境では事故連絡できません。通信圏外で衝撃を検知した場合は、繰り返し通信を試み、通信が可能になった時点で自動的に事故連絡します。

**Q 事故発生時、エンジンを切っても通話は可能ですか？**

A 端末は、バッテリーユニットに内蔵されているバッテリーによりエンジンを切った状態でも通話が可能です。バッテリーは動作中に充電されますが、充電が不十分な場合は、短い時間で端末の電源が切れる可能性があります。

(走行開始直後は充電が不十分な場合がありますのでご注意ください。)

**Q 自動的に事故連絡がされなかったのですが、どうすればいいのでしょうか？**

A 事故の衝撃が小さく、検知できなかったものと思われます。その場合でも、常時録画機能により、運転中のすべての映像は保存されています。【SOS】ボタンを3秒以上押す、もしくは3秒以内に4回以上連続で押しyingいただくと、事故受付センターにつながりますので、事故内容をご説明ください。その後、端末の転送機能を利用する、またはPCアプリを使用し映像を東京海上日動に送信することができます。(→ P.100)

**Q 誤って「事故連絡画面」をキャンセルしてしまったのですが、どうすればいいのでしょうか？**

A 【SOS】ボタンを3秒以内に4回以上連続で押しyingいただくと、事故受付センターにつながりますので、事故内容をご説明ください。キャンセル時の映像は保存されているため、端末の転送機能を利用する、またはPCアプリを使用し映像を東京海上日動に送信することができます。(→ P.100)

**Q 事故が発生するとどうなるのですか？**

A 端末が強い衝撃を検知すると、端末に事故の発生有無を確認する画面が表示されます。【SOS】ボタンを押すと、事故受付センターにつながります。事故内容をご説明ください。衝撃が特に強い場合は、ボタンを押さなくても事故受付センターに自動的につながります。

**Q すべての事故がイベント録画されるのですか？**

A 端末が衝撃を検知した場合にイベント録画として記録します。

低速走行中の接触事故など衝撃が小さい場合は、事故としてイベント録画が行われない場合があります。その場合は、常時録画の映像を確認していただき、端末の転送機能、またはPCアプリを使用し、事故映像を東京海上日動に送信してください。(→P.100)

**Q PCアプリ以外で映像を確認する方法はありますか？**

A 端末にて録画映像を再生することができます。「録画した映像を端末で再生する」をご参照ください。(→P.74の「録画した映像を端末で再生する」)

また、microSDカード内の保存先のフォルダー(→P.73)を確認し、動画再生ソフトなどでも再生できます。その場合、常時録画ファイルは分割された複数のファイルとして表示されます。

**Q 端末の起動が遅いように思います。**

A 端末起動時、自動的に機能チェックを行っているため、起動に時間がかかることがあります。録画は起動後に始まりますので、端末の起動を確認してから走り始めてください。

**Q 衝撃を検知したときのイベント録画の録画時間はどれくらいですか？**

A 衝撃を検知した時点から、前10秒/後5秒の合計15秒の映像を録画します。

**Q microSDカードに保存できる映像の録画時間はどれくらいですか？**

A 「録画された映像の取り扱いについて」(→P.73)をご参照ください。

**Q 前方カメラ/車内カメラの切り替えアイコンが表示されません。**

A システム設定のカメラ選択で前方カメラのみの設定時など、1カメラ分しか録画されたファイルがない場合はカメラ切替アイコンが非表示になります。

# 故障かな？と思ったら

ドライブエージェントパーソナル事務局（新型・事故自動通報ドラレコ）に連絡する前に、電源が入る場合は以下の操作を行ってください。

一度お車のエンジンを切って、再度エンジンをかけてください。解決しない場合は、バッテリーユニットの【電源】ボタン（→P.17の「端末各部の名称と主な働き」）を10秒以上長押しして端末を再起動してください。

それでも解決されない場合、以下をご確認ください。

\* ドライブエージェントパーソナル事務局（新型・事故自動通報ドラレコ）の連絡先は裏表紙をご確認ください。

**症状** エラーメッセージ「●●」が表示されます。

**処置** →P.115の「エラーメッセージ」をご確認ください。

**症状** 端末の電源が入りません。

**処置** シガープラグがきちんと接続できているかをご確認ください。接続に問題がなく、給電インジケータも点灯しているのに端末が起動しない場合もしくは接続に問題がないのに給電インジケータが点灯していない場合は、ドライブエージェントパーソナル事務局（新型・事故自動通報ドラレコ）にご連絡ください。

**症状** 映像がはっきり映りません。

**処置** カメラの保護シートが付いている場合は必ず剥がしてください。また、フロントガラスやカメラに汚れがないか確認し、汚れがある場合は柔らかい布等で拭き取ってください。それでも解決しない場合は、ドライブエージェントパーソナル事務局（新型・事故自動通報ドラレコ）にご連絡ください。

**症状** エンジンを切っても電源が切れません。

**処置** エンジンを切っても、端末がスリープ状態にならない車種の場合、端末を使用しないときは必ずシガープラグを車のシガーソケットまたはアクセサリソケットから抜くか、シガープラグからケーブルを抜いてください。抜き忘れると車のバッテリー上がりの原因になります。

**症状** 運転中に突然端末が再起動してしまいました。

**処置** シガープラグの接触不良により再起動することがあります。シガープラグの接続状態をご確認ください。

**症状** 端末の電源がたびたび切れます。

**処置** 故障の可能性がありますので、ドライブエージェントパーソナル事務局（新型・事故自動通報ドラレコ）にご連絡ください。

**症状** 走行中に画面が消えます。

**処置** 利用中に端末の温度が過度に上昇すると、システムの保護のためディスプレイ表示を制限する場合があります。端末の温度が低くなった状態で再度エンジンをかけていただくと、制限が解除され、元の表示状態で動作します。なお、ディスプレイ表示が制限されている場合でも、事故連絡機能、ドライブレコーダー機能には影響ありません。

**症状** 頻繁に事故かどうかを確認する画面が表示されたり、急操作警告音が鳴ることがあります。

**処置** カメラの向きが正しく取り付けられているかをご確認ください。また、カメラユニットがぐらついていたり、固定ネジが緩んでいる場合はカメラユニットの向きを確認の上、ネジをしっかりと締めて固定してください。上記の処置でも解決しない場合には、ドライブエージェントパーソナル事務局（新型・事故自動通報ドラレコ）にご連絡ください。

**症状** PC アプリで確認しても映像が記録されていません。

**処置** ● 事故の衝撃が小さい場合はイベント録画には記録されません。常時録画タブを選択し、その中に事故の映像がないかご確認ください。

- microSD カードが挿入されていない場合や、接触不良、microSD カードに異常がある場合は録画が行われません。microSD カードの未挿入や異常が検知された場合は、起動時にエラーメッセージが流れますので、指示に従って microSD カードの挿入や抜き差しを行ってください。
- microSD カードを抜いているときや microSD カード初期化中など (→ P.91) は映像が録画されません。
- 上記に当てはまらない場合、ドライブエージェントパーソナル事務局 (新型・事故自動通報ドラレコ) にご連絡ください。

**症状** 録画映像の色がおかしいです。

**処置** ● 暗所では車内の視認性をアップするために IR-LED (赤外線光源) が点灯する場合があります。IR-LED (赤外線光源) が点灯すると録画映像は通常と異なる色味になります。録画映像が暗所のものであるか確認してください。

- 上記に当てはまらない場合、ドライブエージェントパーソナル事務局 (新型・事故自動通報ドラレコ) にご連絡ください。

**症状** 録画映像を再生した時に、白くなったり黒くなったりします。

**処置** 起動時に明るい場所で録画した映像は露出調整のため再生時に最初 0.5 秒程度白くなることがあります。また、暗い場所で録画した映像は再生時に最初 0.5 秒程度黒くなることがあります。端末の故障ではありません。

**症状** 端末からブザー音がします。

**処置** ● カメラユニットとバッテリーユニットのケーブル接続が正しくない可能性があります。各ユニットのコネクタが正しく接続されているかどうかをご確認ください。

- マイク、またはスピーカー異常を検知する表示が出ている場合は、手動保守点検 (→ P.95 の「手動保守点検」) をお試しください。

# エラーメッセージ

ご利用中にエラーメッセージが出た場合は下記をご確認ください。それでも解決しない場合はドライブエージェントパーソナル事務局（新型・事故自動通報ドラレコ）にご連絡ください。

\* ドライブエージェントパーソナル事務局（新型・事故自動通報ドラレコ）の連絡先は裏表紙をご確認ください。

## 端末を起動したとき

「カメラユニットの角度を調整し、決定ボタンを押してください。」

原因 カメラユニットが正しく取り付けられていない可能性があります。

処置 カメラユニットの取り付けを再度確認してください。  
(→P.27)

「バッテリー交換時期になりました。事務局にご連絡ください。」

原因 バッテリーが劣化しています。

処置 端末を交換いたしますので、ドライブエージェントパーソナル事務局（新型・事故自動通報ドラレコ）にご連絡ください。

「保険始期日前は、事故連絡などの一部機能がご利用いただけません。」

原因 契約始期日以前のためご利用いただけません。

処置 契約始期日後にご利用ください。ただし、期日前でも映像記録機能は利用できます。

「サーバーとの通信が不安定なためサービスを開始できませんでした。約1分後に自動でリトライします。」

原因 サーバーとの通信が不安定なためサービスを開始できません。

処置 電波の良いところに移動してください。端末は約1分後に自動でリトライを行います。

**「通信圏外のため、通信圏内に移動後、自動でリトライします。」**

原因 通信圏外のためサービスを開始できません。

処置 通信圏内に移動してください。通信圏内に入るとメッセージの表示が消え自動でリトライを行います。

**「通信エラーです。申し訳ございませんが事務局にご連絡ください。」**

原因 端末の不具合の可能性があります。

処置 ドライブエージェントパーソナル事務局（新型・事故自動通報ドラレコ）にご連絡ください。

**「端末が登録されていないためサービスを開始できませんでした。事務局にご連絡ください。」**

原因 端末の不具合の可能性があります。

処置 ドライブエージェントパーソナル事務局（新型・事故自動通報ドラレコ）にご連絡ください。

**「契約期間外のため、端末を返却してください。」**

原因 保険期間外のためご利用いただけません。

処置 端末をドライブエージェントパーソナル事務局（新型・事故自動通報ドラレコ）へご返却ください。

**「SD カードの異常を検知しました。エンジンを切り SD カードを抜き差ししてください。」**

原因 microSD カードの接触不良か microSD カードが消耗しています。

処置 一度お車のエンジンを切って、microSD カードを抜き差ししてください。再度エンジンをかけても解決しない場合はドライブエージェントパーソナル事務局（新型・事故自動通報ドラレコ）にご連絡ください。

「SD カードが検知できません。SD カードが挿入されているか確認してください。」

原因 microSD カードが挿入されていないか、認識されていません。

処置 バッテリーユニット側面部の microSD カードスロットに正しい向きで microSD カードが挿入されていることをご確認ください。挿入されている場合には、microSD カードの抜き差しをお試しただき、改善が無い場合はドライブエージェントパーソナル事務局（新型・事故自動通報ドラレコ）にご連絡ください。

「SD カードが検知できません。SD カードを挿入してください。」

原因 microSD カードが挿入されていないか、認識されていません。

処置 バッテリーユニット側面部の microSD カードスロットに正しい向きで microSD カードが挿入されていることをご確認ください。挿入されている場合には、microSD カードの抜き差しをお試しただき、改善が無い場合はドライブエージェントパーソナル事務局（新型・事故自動通報ドラレコ）にご連絡ください。

「SD カードの交換時期になりました。事務局にご連絡ください。」

原因 SD カードの寿命が近くなっています。

処置 ドライブエージェントパーソナル事務局（新型・事故自動通報ドラレコ）にご連絡ください。

「SD カードの容量が小さいため、録画を開始できませんでした。付属の SD カードをご使用ください。」

原因 SD カードの容量が小さいです。

処置 付属の SD カードをご使用ください。

「SD カードに録画に必要な容量が不足しているため、録画を開始できませんでした。SD カードの初期化を行ってください。」

原因 録画に必要な領域がありません。

処置 SD カードの初期化を行ってください。

「カメラユニットの接続異常を検知しました。バッテリーユニットとカメラユニットの接続を確認してください。異常が解消されない場合は、事務局にご連絡ください。」

原因 カメラユニットとバッテリーユニットを接続しているケーブルが抜けかかっている可能性があります。

処置 カメラユニットとバッテリーユニットを接続しているケーブルが抜けかかっているか確認してください。問題がないようでしたら、ドライブエージェントパーソナル事務局（新型・事故自動通報ドラレコ）にご連絡ください。

「走行中は操作できません。」

原因 走行中は安全性の観点から、画面操作ができません。

処置 お車を安全な場所に停車させてから操作を行ってください。

「次の機器の異常を検知しました。」

原因 端末の不具合の可能性があります。

処置 ドライブエージェントパーソナル事務局（新型・事故自動通報ドラレコ）にご連絡ください。

「マイク、またはスピーカーの異常を検知しました。メニューの各種設定にある手動保守点検を実施してください。」

原因 マイクまたはスピーカーの故障の可能性があります。

処置 手動保守点検を実施してください。

「〇〇の異常を検知しました。申し訳ございませんが事務局にご連絡ください。」

原因 カメラユニット、またはバッテリーユニットの故障の可能性があります。

処置 カメラユニット、またはバッテリーユニットの交換が必要な場合がありますので、ドライブエージェントパーソナル事務局（新型・事故自動通報ドラレコ）にご連絡ください。

「SD カードカバーが開いています。SD カードカバーを閉じてください。」

原因 バッテリーユニットのSD カードカバーが開いている可能性があります。

処置 バッテリーユニットのSD カードカバーを閉じてください。

「SD カード挿入を検知しました。サービスを開始するためには端末のSD カードカバーを閉じてください。」

原因 バッテリーユニットのSD カードカバーが開いている可能性があります。

処置 バッテリーユニットのSD カードカバーを閉じてください。

「申し訳ありませんが、ドライブエージェントパーソナル事務局までご連絡ください。」

原因 端末の不具合の可能性があります。

処置 ドライブエージェントパーソナル事務局（新型・事故自動通報ドラレコ）にご連絡ください。

「温度上昇によるシステム保護のため、システムをシャットダウンいたします。」

原因 温度上昇によるシステム保護のため、システムをシャットダウンしています。

処置 端末温度が低くなった状態で再度エンジンをかけていただくと、制限が解除され、元の状態で動作します。

「温度上昇によるシステム保護のためカメラ機能を制限いたします。」

原因 温度上昇によるシステム保護のため、カメラ機能を一次的に制限しています。

処置 カメラユニットの温度が低くなると、制限が解除され、元の状態で動作します。

## 事故連絡機能が動作したとき

### 「通信接続エラーのため事故連絡ができませんでした。」

原因 端末の不具合の可能性があります。

処置 続いて表示される事故受付センターの連絡先をご確認し、事故受付センターまでご連絡ください。

端末の交換が必要な場合がありますので、ドライブレコーダーエージェントパーソナル事務局（新型・事故自動通報ドラレコ）にご連絡ください。

### 「通信圏外またはネットワーク異常のため接続を終了しました。」

原因 通信圏外のためサービスが利用できない、もしくは一時的なシステムの不具合の可能性があります。

処置 続いて画面に表示される事故受付センターの連絡先をご確認し、事故受付センターまでご連絡ください。

## ドライブレコーダー機能を利用しているとき

### 「まもなくロックファイルの数が上限に達します。」

原因 ロックされているファイルが増加したことにより、ロックされているファイルがまもなく上限に達します。

処置 ロックされた映像を解除するか、不要な映像を削除してください。上限は 300 件です。

### 「ロックファイルの数が上限に達しました。」

原因 ロックされているファイルが増加したことにより、ロックされているファイル数が上限に達しました。一部のイベント録画が開始できません。

処置 ロックされた映像を解除するか、不要な映像を削除してください。上限は 300 件です。

### 「ロックファイルが上限に達しているため、録画が開始できません。」

原因 ロックされているファイルが増加したことにより、ロックされているファイル数が上限に達しました。一部のイベント録画が開始できませんでした。

処置 ロックされた映像を解除するか、不要な映像を削除してください。上限は 300 件です。

### 「常時録画のファイル保存に失敗しました。」

原因 常時録画終了時に、常時録画ファイルの保存に失敗しました。

処置 SD カード内の Broken フォルダ (→ P.73) に破損ファイルとして保存されます。

## イベント録画をロックしたとき

### 「ロックファイルが上限に達しているため、ロックできませんでした。」

原因 保存されているロックファイルが上限に達しています。

処置 ロックされた映像を解除するか、不要な映像を削除してください。上限は 300 件です。

## 「システム設定」のメニューを操作しているとき

### 「設定の初期化に失敗しました。」

原因 設定の初期化に失敗しました。

処置 端末の交換が必要な場合がありますので、ドライブエージェント パーソナル事務局 (新型・事故自動通報ドラレコ) にご連絡ください。

## 「SD カードの初期化に失敗しました。」

原因 SD カードの初期化に失敗しました。

処置 一度お車のエンジンを切って、microSD カードの抜き差しを行ってからエンジンをかけ、再度 microSD カードの初期化を行ってください。

それでもエラーが表示される場合には、ドライブエージェント  
パーソナル事務局（新型・事故自動通報ドラレコ）にご連絡ください。

# microSD カードの交換について

## メモ

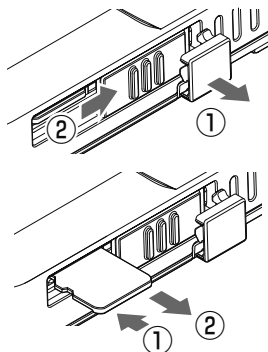
- 端末は、microSDXC カード (64 GB ~ 512 GB) に対応していません → P.14 の「microSD カードの取り扱いに関するご注意」をご覧ください。

## 1 端末の電源をオフにします

→ P.60 の「端末の電源をオフにする」

## 2 バッテリーユニット側面の のストッパーを外し (①) SD カードカバーを開き ます (②)

“カチッ” と音がする  
まで挿入されている  
microSD カードを押し  
込んで (①)、取り出しま  
す (②)

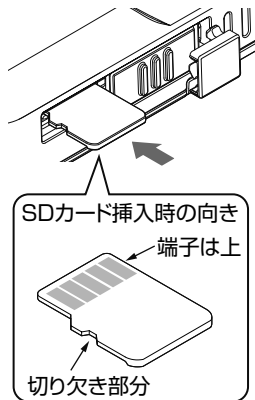


## ⚠ 注意

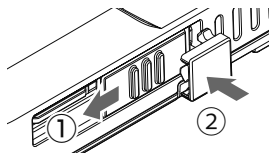
- microSD カードは勢いよく飛び出す場合があるので、中央部をゆっくりと押しつけて離し、まっすぐ取り出してください。
- 取り外した microSD カードは、専用ケースに入れるなどして、保管してください。また、誤ってお子様が飲み込むなどのことがないように、保管場所にもご配慮ください。
- microSD カードの端子部分には触れないでください。接触不良や破損の原因になります。
- microSD カードは接触不良が起こりやすいため、認識されない場合は差し直してください。
- microSD カード、ストッパーは大変小さいものです。紛失にご注意ください。
- SD カードカバーが開いている場合は、以下の機能を停止します。SD カードカバーが閉じた場合に機能を動作させます。
  - ・ 常時録画
  - ・ イベント録画（急操作検知のみ）
  - ・ 録画ファイル確認機能
  - ・ 録画ファイル確認中の録画アップロード

## 3 “カチッ” と音がするまで、新しい microSD カードを差し込みます

端子のある面を下側にして差し込んでください。



SD カードカバーを閉じてから  
(①)、ストッパーを押し込んで  
戻します (②)



**⚠ 注意**

- SD カードカバーのストッパーが浮いていることのないように確実に押し込んでください。

**4 端末の電源をオンにします**

→ P.56 の「サービスの開始から終了まで」

# 比吸収率 (SAR) について

この機種「TMX-DM06」は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合しています。

本機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準(※)ならびに、これと同等な国際ガイドラインが推奨する電波防護の許容値を遵守するように設計されています。この国際ガイドラインは世界保健機関 (WHO) と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会 (ICNIRP) が定めたものであり、その許容値は使用者の年齢や健康状況に関係なく十分な安全率を含んでいます。

国の技術基準および国際ガイドラインは電波防護の許容値を人体に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率 (SAR : Specific Absorption Rate) で定めており、本機に対する SAR の許容値は 4.0 W/kg です。取扱説明書に記述する通常使用の場合、本機の SAR の最大値は 1.0 W/kg です。個々の製品によって SAR に多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。

本機は、携帯電話等基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通信している状態では、通常 SAR はより小さい値となります。一般的には、基地局からの距離が近いほど、本機の出力は小さくなります。

通信中は、身体から 2 cm 以上離し、かつその間に金属 (部分) が含まれないようにしてください。このことにより、本機が国の技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合していることを確認しています。

世界保健機関は、『携帯電話が潜在的な健康リスクをもたらすかどうかを評価するために、これまで 20 年以上にわたって多数の研究が行われてきました。今日まで、携帯電話使用によって生じるとされる、いかなる健康影響も確立されていません。』と表明しています。

さらに詳しい情報をお知りになりたい場合は、世界保健機関のホームページをご参照ください。

<https://www.who.int/news-room/fact-sheets/detail/electromagnetic-fields-and-public-health-mobile-phones>

SAR について、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、下記のホームページをご参照ください。

**総務省のホームページ**

<http://www.tele.soumu.go.jp/j/sys/ele/index.htm>

**一般社団法人電波産業会のホームページ**

<http://www.arib-emf.org/index02.html>

※技術基準については、電波法関連省令（無線設備規制第14条の2）で規定されています。

# 商標・著作権

- Bluetooth® ワードマークおよびロゴは登録商標であり、Bluetooth SIG, Inc. が所有権を有します。パイオニア株式会社は使用許諾の下でこれらのマークおよびロゴを使用しています。その他の商標および登録商標は、それぞれの所有者の商標および登録商標です。



- SD、microSD、microSDXC ロゴは SD-3C LLC の商標です。



- Wi-Fi および Wi-Fi CERTIFIED® ロゴは、Wi-Fi Alliance® の登録商標です。



- Macintosh は、米国、他の国々および地域で登録された Apple Inc. の商標です。
- Microsoft、Windows は、マイクロソフト グループの企業の商標です。
- USB Type-C® と USB-C® は、USB Implementers Forum の登録商標です。
- Intel Core は、アメリカ合衆国およびその他の国における Intel Corporation またはその子会社の商標または登録商標です。
- LTE は、欧州電気通信標準化機構 (ETSI) の商標です。
- 本製品 (本システム) は、準天頂衛星システム「QZSS」に対応しています。
- 記載の社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。

# 主な仕様

## 共通部

使用電圧	DC 5 V (付属のシガープラグ接続時)
最大消費電流	2.1 A
使用温度範囲	- 10 °C ~ + 60 °C
保存温度範囲	- 20 °C ~ + 80 °C

## ●カメラユニット

### 前方カメラ部 / 車内カメラ部

解像度	1 920 × 1 080 pixel
画素数	有効画素 約 200 万画素
レンズ	F 値 2.0
画角	水平 130° 以上 垂直 70° 以上 対角 150° 以上
フレームレート	15.6 fps

## GNSS 部

GNSS	GPS, GLONASS, QZSS 対応
------	-----------------------

## マイク部

マイク	1 個
-----	-----

## スピーカー部

スピーカー	1 個
-------	-----

## ●バッテリーユニット

### モニター部

画面サイズ	2 インチ
解像度	水平 480 × 垂直 360
方式	タッチパネル (静電容量方式)
バックライト	LED 光源

## microSD カード部

SPEED CLASS ----- Class 10  
対応メモリ容量 ----- microSDXC 64 GB ~ 512 GB  
ファイルシステム ----- FAT32

## ブザー部

ブザー ----- 1 個

## LTE™/4G 部

データ通信方式 ----- バンド 1、3、19

## Wi-Fi® 部\*

ワイヤレス準拠規格 ----- IEEE 802.11a/b/g/n  
変調方式 ----- OFDM/DSSS/CCK  
チャンネル ----- 2.4 GHz 帯 : 1 ~ 13 / 5 GHz 帯 : 36 ~ 48  
セキュリティ ----- OPEN/WPA2/WPA3  
使用周波数帯域 ----- 2.4 GHz / 5.2 GHz  
動作モード ----- ステーションモード (STA)

## Bluetooth® 部\*

Bluetooth バージョン ----- Bluetooth 5.0  
プロファイル ----- GAP, GATT  
出力 ----- Power class 2

## バッテリー部

リチウムイオンバッテリー ----- 容量 : 800 mAh

## 外形寸法

カメラユニット (ブラケット含む) -----  
90 (W) mm × 53.7 (H) mm ~ 58 (H) mm × 39.9 (D) mm  
バッテリーユニット (ブラケット含む) -----  
73 (W) mm × 116.6 (H) mm × 27.2 (D) mm  
バッテリーユニット (ブラケット含まない) -----  
68 (W) mm × 95 (H) mm × 20.2 (D) mm

## 質量

カメラユニット (ブラケット含む) ----- 約 65 g  
バッテリーユニット (ブラケット含む) ----- 約 155 g  
バッテリーユニット (ブラケット含まない) ----- 約 135 g

\* : 2026 年 1 月現在のサービスでは使用しておりません。

## ●シガープラグ

入力電圧	-----	DC 10.5 V ~ 32 V
出力電圧	-----	DC 5 V
出力電流	-----	2.1 A(USB Type-C) 0.5 A(USB Type-A)

## ●付属品

シガープラグ	-----	1
microSDXC カード (64 GB) (端末に装着済み)	-----	1
アルコールクリーナー	-----	3
SD カードアダプター (ケース付き)	-----	1
バッテリーユニット用ブラケット	-----	1
ケーブル (6.5 m)	-----	1
面ファスナー	-----	3
結束バンド	-----	8
ケーブル固定用テープ	-----	12
六角レンチ	-----	1
取扱説明書	-----	1

## <端末の取り付け・操作・故障等に関するお問い合わせ先>

ドライブエージェントパーソナル事務局（新型・事故自動通報ドラレコ）

TEL : 0120-763-978

受付時間：月曜～土曜の午前9時半～午後6時

（日曜・祝日・ヘルプデスク休業日を除く）

提供元

東京海上日動火災保険株式会社

製造元

パイオニア株式会社

〒113-0021

東京都文京区本駒込2-28-8 文京グリーンコート

< KMTZ25K > < CYR1393-B >